

**令和6年度予算  
需要家主導型太陽光発電導入支援事業  
【複数年度事業】**

**申請書類作成の手引き**

第1.0版 令和6年9月

一般社団法人太陽光発電協会

## はじめに

✓ 本手引きは、令和6年度需要家主導型太陽光発電導入支援事業費補助金(以下、「本補助金」という。)への申請に際し、各種申請書類の記載方法等について解説することを目的としています。

✓ **指定様式に係る記載方法**を確認する場合は、下表をご覧の上、本資料中の該当ページをご参照ください。

様式	書類名称	ページ
様式第1	応募申請書	P.5-6
別紙1-1	補助事業に要する経費、補助対象経費及び補助金の配分額	P.7-9
別紙1-2	役員名簿	P.10
別紙1-3	誓約書	P.11
様式第2	実施計画書	P.12-13
別紙2-1	申請者情報(発電事業者)	P.14
別紙2-2	関係者情報(小売電気事業者・需要家)	P.15
様式第3	実施体制	P.16
様式第4-1	補助対象設備の整備計画(総括表)	P.17-23
様式第4-2	補助対象設備による電気の利用の計画	P.24
様式第4-3	補助対象設備の設備構造図	P.25-26
様式第5	資金計画	P.27
様式第6	事前着手申請書	P.28
添付2	申請者の決算書	P.29
添付3	申請者の商業登記簿謄本の写し	P.30
添付4(1)	地上設置の場合:補助対象設備を導入する土地全筆の地番リスト	P.31
添付4(2)	地上設置の場合:添付4(1)のリストにある土地と境界を接する土地全筆の地番リスト	P.32
添付5(1)	補助対象設備を導入する土地の登記簿謄本、売買契約書又は賃貸借契約書の写し	P.33-35
添付7	補助対象設備の系統連系に係る接続検討の回答	P.36-37
添付11	関係法令手続状況の説明資料	P.38-39
添付12	賃金引上げ計画の表明書	P.40

※提出書類には、上記指定申請書類以外に、自由様式による申請書類も含まれます。詳細は公募要領をご確認ください。

## 補助金を申請及び受給される方へ

- ✓ 本補助金の交付を申請する方、採択されて補助金を受給される方は、本事業ホームページに掲載の公募要領を十分確認・理解する他、補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律(昭和30年8月27日法律第179号)(以下、「補助金適正化法」という。)及び需要家主導型太陽光発電・再生可能エネルギー電源併設型蓄電池導入支援事業費補助金交付規程(以下、「交付規程」という。)をよくご理解の上、また、下記の点についても十分にご認識した上で補助金受給に関する全ての手続きを適正に行っていただくようお願いいたします。

### 遵守事項

- ① 補助金に関係する全ての提出書類において、いかなる理由があってもその内容に虚偽の記述を行わないでください。
- ② 偽りその他不正な手段により、補助金を不正に受給した疑いがある場合には、一般社団法人太陽光発電協会(以下、「JPEA」という。)は補助金の受給者に対し必要に応じて現地調査等を実施します。  
なお、事業に係る取引先(委託先、外注「請負」先以降も含む)に対して、不明瞭な点が確認された場合、補助金の受給者立ち会いのものに必要に応じて現地調査等を実施します。その際、補助金の受給者から取引先に対して協力をお願いしていただくこととします。
- ③ ②の調査の結果、不正行為が認められたときは、当該補助金に係る交付決定の取消を行うとともに、受領済の補助金のうち取消対象となった額に加算金(年10.95%の利率)を加えた額を返還していただきます。併せて、JPEAから新たな補助金等の交付を一定期間、行わないこと等の措置を執るとともに当該事業者の名称及び不正の内容を公表することがあります。なお、経済産業省が現在停止中の事業者として以下URLにて公表されている事業者は本補助金の申請者等になることはできません。  
[https://www.meti.go.jp/information\\_2/publicoffer/shimeiteishi.html](https://www.meti.go.jp/information_2/publicoffer/shimeiteishi.html)
- ④ 補助金に係る不正行為に対しては、補助金適正化法第29条から第32条において、刑事罰等を科す旨が規定されています。あらかじめ補助金に関するそれらの規定を十分に理解した上で本事業の申請手続を行うこととしてください。
- ⑤ JPEAから補助金の交付決定を通知する前において、発注等を行った経費については、原則として、補助金の交付対象とはなりません。
- ⑥ 補助事業を遂行するため、売買、請負その他の契約をする場合、若しくは補助事業の一部を第三者に委託し、又は第三者と共同して実施しようとする場合の契約(契約金額100万円未満のものを除く)に当たっては、JPEA又は経済産業省から補助金交付等停止措置又は指名停止措置が講じられている事業者を契約の相手方とすることは原則できません(補助事業の実施体制が何重であっても同様)。
- ⑦ 補助金で取得、又は効用の増加した財産(取得財産等)を当該資産の処分制限期間内に処分(補助金の交付目的に反して使用、譲渡、交換、貸し付け、廃止、又は担保に供すること)しようとする時は、事前に処分内容等についてJPEAの承認を受けなければなりません。  
なお、必要に応じて取得財産等の管理状況について調査することがあります。  
※処分制限期間は、補助事業等により取得し、又は効用の増加した財産の処分制限期間(令和5年4月26日経済産業省告示第64号)に定める建物附属設備においては、蓄電池電源設備(6年)、その他のもの「太陽光発電設備」(15年)、機械及び装置においては、蓄電池電源設備(6年)、その他のもので主として金属製のもの「太陽光発電設備」(17年)の処分制限期間を準用して適用する(以下同じ)。
- ⑧ 補助事業に係る資料(申請書類、JPEA発行文書、経理に係る帳簿及び全ての証拠書類)は、補助事業完了(廃止の承認を受けた場合を含む。)の日が属する年度の終了後5年間いつでも閲覧に供せるよう保存してください。
- ⑨ 補助事業の実施中及び終了後、発電事業の状況や補助事業の成果を分析するためのデータ収集やアンケート協力等について、JPEA又は経済産業省が提供を求めた場合は、協力してください。なお、それらの分析結果については、補助事業者へ不利益が生じないように個別確認を行った上で、JPEAのホームページ等で公表することがあります。
- ⑩ JPEAは、交付決定後、交付決定した事業者名、補助事業概要等をJPEAのホームページ等で公表することがあります。

## 本補助金への応募申請に係る主な留意事項

✓ 応募申請に際しては、下記の点に留意のうえ申請書類を作成いただきますようお願いいたします。

### 本補助金申請に係る基本的な留意事項

- ✓ 本補助金の応募に際しては、公募要領を十分確認・理解する他、補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律(昭和30年8月27日法律第179号)(以下、「補助金適正化法」という。)及び需要家主導型太陽光発電・再生可能エネルギー電源併設型蓄電池導入支援事業費補助金交付規程をよくご理解の上、申請書類を作成してください。
- ✓ 申請書類の作成に際しては、申請者が記入すべき部分を除いて、内容を絶対に変更しないでください。予め定められた内容を変更して申請が行われたことが発覚した場合、不採択・交付決定の取消し等を行います。
- ✓ 申請書類の様式は、書類作成の簡素化のため、一部自動計算により入力されるように作成されています。
- ✓ 申請書類の提出にあたっては、公募要領の他、本注意事項をよく確認の上、作成してください。

### 申請期間および申請方法

- ✓ 第一次公募の申請期間は、以下の通りです。
  - 単年度事業:2024年9月19日(木)~10月25日(金) 17:00
  - 複数年度事業:2024年9月19日(木)~11月8日(金) 17:00
- ✓ 申請はJPEAホームページのリンクにある、「jGrants」(Jグランツ。デジタル庁が運営する補助金の電子申請システム)による申請のみ受け付けます。  
※郵送・メール・窓口での提出は受け付けません。

### 申請書類の提出方法

- 提出書類は、全て電子ファイル(PDF、Excel)になります。提出書類のファイル名は以下の通りにしてください。
- 様式第1は、別紙1-1~別紙1-3とまとめて1つのPDFファイルとし、ファイル名を「様式第1\_申請者名.pdf」として提出してください。様式第5、様式第6も同様なファイル名として提出してください。
  - 様式第2~様式第4-3、添付4(1)、添付4(2)、添付11は、Excelファイルのまま提出してください。ファイル名を「様式第2\_申請者名.xlsx」として提出してください。
  - その他、添付1~添付16(添付4(1)、添付4(2)、添付11を除く)は、PDFファイルで提出してください。ファイル名は、例えば添付1の場合は、「添付1\_申請者名.pdf」とし、他の書類も同様なファイル名として提出してください。

### お問合せ先

- JPEA太陽光発電推進センター (JP-PC)
- 電話:03-6628-5740 (受付時間9:30~17:30/土日・祝日は除く)
  - ホームページURL:<https://jp-pc-info.jp>

# 様式第1 (応募申請書)の記入方法 [1]

(様式第1)

RFI-0000XXXXX  
2024年 XX月 XX日

一般社団法人太陽光発電協会  
代表理事 山口 悟郎 殿

申請者 住所 東京都港区新橋X丁目X番X号  
氏名 株式会社 需要家太陽  
代表取締役 太陽太郎

令和6年度予算  
需要家主導型太陽光発電導入支援事業費  
応募申請書

令和6年度予算需要家主導型太陽光発電導入支援事業公募要領 (以下「公募要領」という。)に  
基づき、下記の通り申請します。

なお、補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律(昭和30年法律第179号)、補助金  
等に係る予算の執行の適正化に関する法律施行令(昭和30年政令第255号)及び需要家主導型  
太陽光発電・再生可能エネルギー電源併設型蓄電池導入支援事業費補助金交付要綱(202312  
08財資第1009号)、需要家主導型太陽光発電・再生可能エネルギー電源併設型蓄電池導入支  
援事業費補助金交付規程、公募要領等の定めに従うことを承知し、並びに下記の事項を遵守するこ  
とを宣誓の上、申請します。

記

**【宣誓事項】**

- 申請内容が公募要領に定める要件に合致し、これらの要件を遵守した上で補助対象事業を実  
施する。
- 補助対象事業の実施に際して、地方公共団体が定める条例を含め関係法令を遵守する。
- 補助対象事業により整備する太陽光発電設備、並びに蓄電池設備(当該設備の整備に伴う土  
地の整備等を含む)の廃棄処分について責任を持って適正に実施する。
- 補助金の申請内容に対する虚偽、又は関係法令、補助金適正化法、交付規程、公募要領に定  
めた要件及び交付決定の際に付した条件に関して合理的な理由なく違反する行為が認められ  
た場合は補助金を返還する。

1. 補助対象事業の名称(注1)	需要家主導型太陽光発電導入支援事業
2. 補助対象事業の目的及び内容	脱炭素社会構築を目指す株式会社 EEE 電機、株式会社 FFF 電機、株式会社 GGG 電機が必要とする再 エネ電気を供給するための太陽光発電施設を整備する。
(1) 発電事業者の名称	株式会社 需要家太陽
(2) 小売電気事業者の名称	XXX 電力株式会社
(3) 需要家の名称	株式会社 EEE 電機、株式会社 FFF 電機、株式会社 GGG 電機
3. 補助事業の種別(注2)	①単年度事業 ・ ②複数年度事業

**【本様式全体に関わる留意点】**

- ・本様式はWordファイル“様式第1”で提供します。
- ・記入すべき箇所以外の内容を変更しないでください。
- ・複数年度事業の場合は、各項目の1～3年度目を記入してください。

「番号」に申請者のjGrants申請番号を記入してください。  
※“番号”の文字は削除してください。

「年月日」に申請日を記入してください。

申請者の住所、法人の名称、代表者の氏名を記入してください。  
※「添付3(申請者の商業登記簿謄本の写し)」の記載内容と一致するように記入してく  
ださい。

申請に際しては記載内容を十分に確認してください。

- 1 補助対象事業の名称「需要家主導型太陽光発電導入支援事業」を記入してく  
ださい。
- 2 補助対象事業の目的及び内容を記入してください。
  - 2(1) 申請者の名称を記入してください。
  - 2(2) 小売電気事業者の名称を記入してください。
  - 2(3) 需要家の名称を記入してください。複数の場合は、全需要家名をここに記入  
してください(複数にて記入出来ない場合別紙に記入してください)。
- 3 補助事業の種別を選択してください。

※公募要領1-5①※に記載の連名申請を行う場合は、各申請者の法人の名称等を記入  
してください。以下、他の様式も同じ。

## 様式第1（応募申請書）の記入方法〔2〕

4. 補助対象事業の計画概要（注3）		
1年度目		〇〇を実施する。
2年度目		〇〇を実施する。
3年度目		〇〇を実施する。
5. 補助金交付申請額（注4）		
(1) 補助対象事業に要する経費	1年度目	XXX,XXX,XXX 円
	2年度目	XXX,XXX,XXX 円
	3年度目	XXX,XXX,XXX 円
(2) 補助対象経費	1年度目	XXX,XXX,XXX 円
	2年度目	XXX,XXX,XXX 円
	3年度目	XXX,XXX,XXX 円
(3) 補助金交付申請額	1年度目	XXX,XXX,XXX 円
	2年度目	XXX,XXX,XXX 円
	3年度目	XXX,XXX,XXX 円
6. 補助対象事業に要する経費、補助対象経費及び補助金の配分額（別紙1-1）		
7. 役員名簿（別紙1-2）		
8. 補助対象事業の開始及び完了予定日      交付決定日    ~    2027年 2月 26日		

### 【本様式全体に関わる留意点】



- ・本様式はWordファイル“様式第1”で提供します。
- ・記入すべき箇所以外の内容を変更しないでください。
- ・複数年度事業の場合は、各項目の1～3年度目を記入してください。

- |      |  |
|------|--|
| 4    | 各年度において完了を見込んでいる手続きや工事等の概要を記入してください。   |
| 5(1) | 各年度における様式第4-1の「⑬補助事業に要する経費(円)」の合計金額を記入してください。                                      |
| 5(2) | 各年度における様式第4-1の「⑭補助対象経費(円)」の合計金額を記入してください。  |
| 5(3) | 各年度における様式第4-1の「⑯補助金交付申請額(円)」の合計金額を記入してください。  |
| 8    | 様式第4-1の「⑩運転開始予定日」のうち、最も遅い日付を記入してください。なお、複数年度事業の場合は令和9(2027)年2月26日を超えないように注意してください。 |

※公募要領1-5①※に記載の連名申請を行う場合は、各申請者の法人の名称等を記入してください。以下、他の様式も同じ。

# 様式第1 別紙1-1 (補助事業に要する経費、補助対象経費及び補助金の配分額)の記入方法 [1]

(別紙1-1)

1. 補助事業に要する経費、補助対象経費及び補助金の配分額

(単位:円)

補助対象経費の区分	年度	補助事業に要する経費(注1)	補助対象経費の額(注2)	補助率(注3)	補助金交付申請額(注4)
設計費	1年度目	XXX,XXX,XXX円	XXX,XXX,XXX円	1/3 1/2	XXX,XXX,XXX円
	2年度目	XXX,XXX,XXX円	XXX,XXX,XXX円		XXX,XXX,XXX円
	3年度目	XXX,XXX,XXX円	XXX,XXX,XXX円		XXX,XXX,XXX円
設備購入費	1年度目	XXX,XXX,XXX円	XXX,XXX,XXX円	1/3 1/2	XXX,XXX,XXX円
	2年度目	XXX,XXX,XXX円	XXX,XXX,XXX円		XXX,XXX,XXX円
	3年度目	XXX,XXX,XXX円	XXX,XXX,XXX円		XXX,XXX,XXX円
土地造成費(注5)	1年度目	XXX,XXX,XXX円	XXX,XXX,XXX円	1/3 1/2	XXX,XXX,XXX円
	2年度目	XXX,XXX,XXX円	XXX,XXX,XXX円		XXX,XXX,XXX円
	3年度目	XXX,XXX,XXX円	XXX,XXX,XXX円		XXX,XXX,XXX円
工事費	1年度目	XXX,XXX,XXX円	XXX,XXX,XXX円	1/3 1/2	XXX,XXX,XXX円
	2年度目	XXX,XXX,XXX円	XXX,XXX,XXX円		XXX,XXX,XXX円
	3年度目	XXX,XXX,XXX円	XXX,XXX,XXX円		XXX,XXX,XXX円
接続費	1年度目	XXX,XXX,XXX円	XXX,XXX,XXX円	1/3 1/2	XXX,XXX,XXX円
	2年度目	XXX,XXX,XXX円	XXX,XXX,XXX円		XXX,XXX,XXX円
	3年度目	XXX,XXX,XXX円	XXX,XXX,XXX円		XXX,XXX,XXX円
合計		XXX,XXX,XXX円	XXX,XXX,XXX円		XXX,XXX,XXX円

注1:「補助事業に要する経費」とは、当該事業を遂行するために必要な経費を指します。なお、消費税及び地方消費税相当額を差し引いた金額を年度ごとに記入すること。ただし、①単年度事業の場合は1年度目のみ記載すること。

注2:「補助対象経費」には、「補助事業に要する経費」のうち、補助対象となる経費について、消費税及び地方消費税相当額を差し引いた金額を年度ごとに記入すること。ただし、①単年度事業の場合は1年度目のみ記載すること。

注3:「補助率」は、自治体連携型の場合は2/3以内、それ以外は事業類型等の要件により1/2以内または1/3以内。蓄電池の設置に係る経費は蓄電池の種類及び定格出力により1/2または1/3以内。適用される補助率のいずれか、若しくは全てを記入すること。

注4:「補助金交付申請額」は、「補助対象経費」のうち補助金の交付を希望する額で、その限度は整備する発電所ごとに「補助対象経費」にその発電所に適用される補助率を乗じた額の合計(1円未満は切り捨て)のことをいいます。「補助金交付申請額」は年度ごとに記入すること。ただし、①単年度事業の場合は1年度目のみ記載すること。

注5:土地造成費について、発注・工事に着手済みの経費は、補助対象経費の額に含めることはできません。



## 【本様式全体に関わる留意点】

- ・ここで記入する金額は、様式第4-1の③～⑥の欄から転記してください。
- ・複数年度事業の場合は、各項目の1～3年度目を記入してください。

- [1] 各年度における様式第4-1の「③補助事業に要する経費(円)」の各項目の合計金額を記入してください。
- [2] 各年度における様式第4-1の「④補助対象経費(円)」の各項目の合計金額を記入してください。
- [3] 様式第4-1の「⑤適用される補助率」を記入してください。  
 ※「補助率」は、自治体連携型の場合は2/3以内、それ以外は1/3以内。  
 ※但し、自治体連携型以外の場合で公募要領「1-7.補助率(2)」に記載の要件いずれかの場合、1/2以内を選択してください。  
 ※適用される補助率のいずれか、あるいは補助率が混在する場合は両方を記入してください。  
 ※補助率が混在する場合は各補助率に該当の金額(内数)を把握するため、本様式を使用し各補助率(内数)として、必要枚数を添付してください(記載方法は次頁以降[2][3]を参照)。
- [4] 各年度における様式第4-1の「⑥補助金交付申請額(円)」の各項目の合計金額を記入してください。

※予算の執行状況に応じて、二次募集を行う場合がありますが、その際の補助率は変更する可能性があるため、必ず公募要領をご確認ください。

# 様式第1 別紙1-1 (補助事業に要する経費、補助対象経費及び補助金の配分額)の記入方法 [2]

(別紙1-1)

1. 補助事業に要する経費、補助対象経費及び補助金の配分額

(単位:円)

補助対象経費の区分	年度	補助事業に要する経費(注1)	補助対象経費の額(注2)	補助率(注3)	補助金交付申請額(注4)
設計費	1年度目	XXX,XXX,XXX円	XXX,XXX,XXX円	1/3	XXX,XXX,XXX円
	2年度目	XXX,XXX,XXX円	XXX,XXX,XXX円		XXX,XXX,XXX円
	3年度目	XXX,XXX,XXX円	XXX,XXX,XXX円		XXX,XXX,XXX円
設備購入費	1年度目	XXX,XXX,XXX円	XXX,XXX,XXX円	1/3	XXX,XXX,XXX円
	2年度目	XXX,XXX,XXX円	XXX,XXX,XXX円		XXX,XXX,XXX円
	3年度目	XXX,XXX,XXX円	XXX,XXX,XXX円		XXX,XXX,XXX円
土地造成費(注5)	1年度目	XXX,XXX,XXX円	XXX,XXX,XXX円	1/3	XXX,XXX,XXX円
	2年度目	XXX,XXX,XXX円	XXX,XXX,XXX円		XXX,XXX,XXX円
	3年度目	XXX,XXX,XXX円	XXX,XXX,XXX円		XXX,XXX,XXX円
工事費	1年度目	XXX,XXX,XXX円	XXX,XXX,XXX円	1/3	XXX,XXX,XXX円
	2年度目	XXX,XXX,XXX円	XXX,XXX,XXX円		XXX,XXX,XXX円
	3年度目	XXX,XXX,XXX円	XXX,XXX,XXX円		XXX,XXX,XXX円
接続費	1年度目	XXX,XXX,XXX円	XXX,XXX,XXX円	1/3	XXX,XXX,XXX円
	2年度目	XXX,XXX,XXX円	XXX,XXX,XXX円		XXX,XXX,XXX円
	3年度目	XXX,XXX,XXX円	XXX,XXX,XXX円		XXX,XXX,XXX円
合計		XXX,XXX,XXX円	XXX,XXX,XXX円		XXX,XXX,XXX円

注1:「補助事業に要する経費」とは、当該事業を遂行するために必要な経費を指します。なお、消費税及び地方消費税相当額を差し引いた金額を年度ごとに記入すること。ただし、①単年度事業の場合は1年度目のみ記載すること。

注2:「補助対象経費」には、「補助事業に要する経費」のうち、補助対象となる経費について、消費税及び地方消費税相当額を差し引いた金額を年度ごとに記入すること。ただし、①単年度事業の場合は1年度目のみ記載すること。

注3:「補助率」は、自治体連携型の場合は2/3以内、それ以外は事業類型等の要件により1/2以内または1/3以内。蓄電池の設置に係る経費は蓄電池の種類及び定格出力により1/2または1/3以内。適用される補助率のいずれか、若しくは全てを記入すること。

注4:「補助金交付申請額」は、「補助対象経費」のうち補助金の交付を希望する額で、その限度は整備する発電所ごとに「補助対象経費」にその発電所に適用される補助率を乗じた額の合計(1円未満は切り捨て)のことをいいます。「補助金交付申請額」は年度ごとに記入すること。ただし、①単年度事業の場合は1年度目のみ記載すること。

注5:土地造成費について、発注・工事に着手済みの経費は、補助対象経費の額に含めることはできません。

**【本様式全体に関わる留意点】**

- ・ここで記入する金額は、様式第4-1の③～⑥の欄から転記してください。
- ・複数年度事業の場合は、各項目の1～3年度目を記入してください。
- ・補助率が混在する場合は、各補助率に該当の金額(内数)を記入してください。
- ・本様式(別紙1-1)は各補助率(内数)として添付してください。

- [1] 各年度における様式第4-1の「③補助事業に要する経費(円)」の各項目の【3】補助率に該当する合計金額を記入してください。
- [2] 各年度における様式第4-1の「④補助対象経費(円)」の各項目の【3】補助率に該当する合計金額を記入してください。
- [3] 様式第4-1の「⑤適用される補助率」を記入してください。  
※補助率が混在する場合は各補助率に該当の金額(内数)を把握するため、本様式を使用し各補助率(内数)として添付してください。  
※左のサンプルは、「1/3」の場合を示す。
- [4] 各年度における様式第4-1の「⑥補助金交付申請額(円)」の各項目の【3】補助率に該当する合計金額を記入してください。

※予算の執行状況に応じて、二次募集を行う場合がありますが、その際の補助率は変更する可能性があるため、必ず公募要領をご確認ください。

# 様式第1 別紙1-1 (補助事業に要する経費、補助対象経費及び補助金の配分額)の記入方法 [3]

(別紙1-1)

## 1. 補助事業に要する経費、補助対象経費及び補助金の配分額

(単位:円)

補助対象経費の区分	年度	補助事業に要する経費(注1)	補助対象経費の額(注2)	補助率(注3)	補助金交付申請額(注4)
設計費	1年度目	XXX,XXX,XXX円	XXX,XXX,XXX円	1/2	XXX,XXX,XXX円
	2年度目	XXX,XXX,XXX円	XXX,XXX,XXX円		XXX,XXX,XXX円
	3年度目	XXX,XXX,XXX円	XXX,XXX,XXX円		XXX,XXX,XXX円
設備購入費	1年度目	XXX,XXX,XXX円	XXX,XXX,XXX円	1/2	XXX,XXX,XXX円
	2年度目	XXX,XXX,XXX円	XXX,XXX,XXX円		XXX,XXX,XXX円
	3年度目	XXX,XXX,XXX円	XXX,XXX,XXX円		XXX,XXX,XXX円
土地造成費(注5)	1年度目	XXX,XXX,XXX円	XXX,XXX,XXX円	1/2	XXX,XXX,XXX円
	2年度目	XXX,XXX,XXX円	XXX,XXX,XXX円		XXX,XXX,XXX円
	3年度目	XXX,XXX,XXX円	XXX,XXX,XXX円		XXX,XXX,XXX円
工事費	1年度目	XXX,XXX,XXX円	XXX,XXX,XXX円	1/2	XXX,XXX,XXX円
	2年度目	XXX,XXX,XXX円	XXX,XXX,XXX円		XXX,XXX,XXX円
	3年度目	XXX,XXX,XXX円	XXX,XXX,XXX円		XXX,XXX,XXX円
接続費	1年度目	XXX,XXX,XXX円	XXX,XXX,XXX円	1/2	XXX,XXX,XXX円
	2年度目	XXX,XXX,XXX円	XXX,XXX,XXX円		XXX,XXX,XXX円
	3年度目	XXX,XXX,XXX円	XXX,XXX,XXX円		XXX,XXX,XXX円
合計		XXX,XXX,XXX円	XXX,XXX,XXX円		XXX,XXX,XXX円



### 【本様式全体に関わる留意点】

- ・ここで記入する金額は、様式第4-1の③～⑥の欄から転記してください。
- ・複数年度事業の場合は、各項目の1～3年度目を記入してください。
- ・補助率が混在する場合は、各補助率に該当の金額(内数)を記入してください。
- ・本様式(別紙1-1)は各補助率(内数)として添付してください。

- [1] 各年度における様式第4-1の「③補助事業に要する経費(円)」の各項目の【3】補助率に該当する合計金額を記入してください。
- [2] 各年度における様式第4-1の「④補助対象経費(円)」の各項目の【3】補助率に該当する合計金額を記入してください。
- [3] 様式第4-1の「⑤適用される補助率」を記入してください。  
※補助率が混在する場合は各補助率に該当の金額(内数)を把握するため、本様式を使用し各補助率(内数)として添付してください。  
※左のサンプルは、「1/2」の場合を示す。
- [4] 各年度における様式第4-1の「⑥補助金交付申請額(円)」の各項目の【3】補助率に該当する合計金額を記入してください。

注1:「補助事業に要する経費」とは、当該事業を遂行するために必要な経費を指します。なお、消費税及び地方消費税相当額を差し引いた金額を年度ごとに記入すること。ただし、①単年度事業の場合は1年度目のみ記載すること。

注2:「補助対象経費」には、「補助事業に要する経費」のうち、補助対象となる経費について、消費税及び地方消費税相当額を差し引いた金額を年度ごとに記入すること。ただし、①単年度事業の場合は1年度目のみ記載すること。

注3:「補助率」は、自治体連携型の場合は2/3以内、それ以外は事業類型等の要件により1/2以内または1/3以内。蓄電池の設置に係る経費は蓄電池の種類及び定格出力により1/2または1/3以内。適用される補助率のいずれか、若しくは全てを記入すること。

注4:「補助金交付申請額」は、「補助対象経費」のうち補助金の交付を希望する額で、その限度は整備する発電所ごとに「補助対象経費」にその発電所に適用される補助率を乗じた額の合計(1円未満は切り捨て)のことをいいます。「補助金交付申請額」は年度ごとに記入すること。ただし、①単年度事業の場合は1年度目のみ記載すること。

注5:土地造成費について、発注・工事に着手済みの経費は、補助対象経費の額に含めることはできません。

※予算の執行状況に応じて、二次募集を行う場合がありますが、その際の補助率は変更する可能性があるため、必ず公募要領をご確認ください。

# 様式第1 別紙1-2 (役員名簿)の記入方法

(別紙1-2)

役員名簿

氏名カナ	氏名漢字	生年月日				性別	会社名	役職名
		和暦	年	月	日			
タノ タケ	太陽 太郎	S	30	12	XX	M	株式会社需要家太陽	代表取締役社長
タノ タケ	発電 花子	S	35	04	XX	F	株式会社需要家太陽	常務取締役

(注)  
 役員名簿については、氏名カナ（半角、姓と名の間も半角で1マス空け）、氏名漢字（全角、姓と名の間も全角で1マス空け）、生年月日（半角で大正はT、昭和はS、平成はH、数字は2桁半角）、性別（半角で男性はM、女性はF）、会社名及び役職名を記載する。  
 また、外国人については、氏名欄にはアルファベットを、氏名カナ欄は当該アルファベットのカナ読みを記載すること。

**【本様式全体に関わる留意点】**  
 ・役員の定義は原則会社法上の役員としてください。  
 (参考)国税庁サイト  
<https://www.nta.go.jp/taxes/shiraberu/taxanswer/hojin/5200.htm>

役員の氏名、会社名、役職名は「添付3(申請者の商業登記簿謄本の写し)」の記載内容と一致するように記入してください。

# 様式第1 別紙1-3 (誓約書)の記入方法

(別紙1-3)

## 誓約書

株式会社需要家太陽が、令和6年度予算需要家主導型太陽光発電導入支援事業に申請及び実施に際して、以下の事項を遵守することを宣誓し、誓約する。この誓約が虚偽であり、又はこの誓約に反したことにより、不利益を被ることになっても、異議は一切申し立てない。

1. 本補助金の交付規程及び公募要領に定める要件等を理解し、株式会社需要家太陽が当該要件等を遵守して補助対象事業を実施することができるよう協力に努める。
2. 蓄電池導入を合わせて行う場合は、下記を遵守し、蓄電池の要件を満たすことを証する書類として提出する。
  - 1) 資源エネルギー庁による電力需給ひっ迫警報及び注意報、並びに一般送配電事業者による電力需給ひっ迫準備情報が発出された際、当該電力需給ひっ迫警報等による節電等の要請時間帯において、可能な限り導入する蓄電池を利用した電力供給を行うこと。
  - 2) 蓄電及び放電した時間や電力量などの蓄電池に係る運用実績を取得、保管するとともに、JPEAが要請した場合には、当該運用実績を提出すること。
  - 3) 採用予定の蓄電システムのBMSのメーカー等について、過去5年間の実績を含め、国際的に受け入れられた基準等に反していないこと、その他の開発供給の適切性が確保されていること。
3. 補助金の申請内容に対する虚偽又は小売電気事業者及び需要家による当該要件等に合理的な理由なく違反する行為が認められた場合は氏名の公表に応じる。

2024年XX月XX日

XXX 電力株式会社  
代表取締役社長 ○○ ○○ 印

※本宣誓書は、小売電気事業者及び需要家の全てがそれぞれ作成すること。

### 【本様式全体に関わる留意点】

- この誓約書は、小売電気事業者及び全ての需要家が個別に作成して提出してください。
- なお、記入すべき箇所以外の内容は変更しないでください。

補助対象事業者(申請者)名を記入してください。

内容を確認の上、誓約してください。

作成日付を記入してください。

法人の名称及び代表者の氏名(個人事業主の場合は氏名)を記入し、社印(個人事業主の場合は他の印鑑も可能)を押印してください。

# 様式第2（実施計画書）の記入方法 [1]

実施計画書	
申請者 住所 東京都港区新橋XXX-XXX	
法人の名称 株式会社 需要家太陽	
代表者氏名 太陽 太郎	
① 事業完了予定日	2027/2/26
② 補助対象設備の合計出力	3,500.0 kW
③ 蓄電池の導入容量の合計(補助対象設備分)	2,250.0 kWh
蓄電池の導入容量の合計(補助対象設備以外も含む)	2,750.0 kWh
④ 補助事業に要する経費の合計額	872,225,000 円
補助対象設備の単価 (蓄電池を併設しない補助対象設備の単価)	212,462 円/kW
⑤ 補助対象設備の単価 (蓄電池を併設する補助対象設備(蓄電池を除く)の単価)	155,933 円/kW
蓄電池の単価	55,000 円/kWh
⑥ 補助対象設備の整備箇所数	3 箇所
⑦ 蓄電池の導入箇所数	2 箇所
⑧ 補助対象設備1箇所当たりの平均出力規模(AC)	1,166.7 kW/箇所
⑨ 補助対象設備の平均積載率 (蓄電池を併設する補助対象設備)	142.5%
補助対象設備の平均積載率 (蓄電池を併設しない補助対象設備)	90.0%
⑩ 系統からの充電の可能性有無(蓄電池を導入する場合)	有
⑪ 需要家による電気の利用に関する契約等の期間	8 年 2027年 2月26日 ~ 2035年 2月26日
⑫ 電気の利用に関する契約等を行う需要家の数(法人数)	3 社
⑬ 補助対象設備の1需要地当たりの平均出力規模	1,166.7 kW/箇所
⑭ 補助対象設備による発電量に対する需要家の買取率	85.6%
⑮ 補助対象設備による計画発電量 (想定平均稼働率)	4,607,760 kWh/年 15.0%
⑯ 補助対象設備によって発電した電気を供給する小売電気事業者の名称	XXXX電力株式会社
⑰ 補助対象設備の保守点検・維持管理の方法	発電設備の保守点検・維持管理について、発電所ごとに責任者を配置し、年に〇回程度の頻度で太陽電池モジュール等の設備の運転状況に関する点検を実施する他、毎日の巡回点検を行うとともに、雑草の除去等の清掃作業を年に〇回実施する。
⑱ 保険加入の計画	全ての発電所において、〇〇年〇〇月頃に火災保険及び第三者賠償保険への加入を予定している。
⑲ 補助対象設備の解体・撤去に係る廃棄等費用の確保の計画	廃棄費用について、廃棄等費用積み立てガイドライン等を参考に〇〇万円と試算。発電事業の実施中に年間〇〇万円規模の積み立てを〇〇において行い、計画的な積み立てを予定。また、発電所発電事業終了後は、発電所近所の〇〇などの中間処理事業者へ引き渡しを計画しており、可能な限りリサイクル等の資源回収を行わせて処分を行う。
⑳ 申請事業者、小売電気事業者、需要家全てのパートナーシップ構築宣言	発電事業者、小売電気事業者、需要家全て宣言あり
㉑ 地域未来牽引企業に選定されている需要家の参画	参画している 需要家名:株式会社 EEE電機
㉒ 地域経済牽引事業計画が各都道府県に承認されている需要家の参画	参画している 需要家名:株式会社 EEE電機
㉓ 同一都道府県内にすべての発電所が設置され、発電所が設置されている都道府県にすべての需要地がある	該当あり



## 【本様式全体に関わる留意点】

・網掛けのセルは、他の様式から自動転記、自動計算されますので、入力できません。

## 記入内容(手動入力部分)

- ① 様式4-1の「⑪運転開始予定日」のうち、最も遅い日付を記入してください(様式第1の8と同じ日付)。
- ⑩ 系統からの充電の可能性の有無を選択してください(※蓄電池を導入する場合のみ)。
- ⑪ 需要家との電気利用の年数・契約期間を記入してください。なお、需要家が複数ある場合は、最も期間の短い契約等の期間を記入してください。
- ⑰ 保守点検・維持管理の方法について、記入してください。別紙で保守点検・維持管理の体制図、保守点検責任者、保守点検周期等の計画等を記入いただいても構いません(様式自由)。
- ⑱ 保険加入の計画について、記入してください。
- ⑲ 廃棄等費用の計画について、記入してください。別紙で記載いただいても構いません(様式自由)。
- ㉑ 申請者、小売電気事業者、需要家に関して、パートナーシップ構築の宣言の有無を選択してください。  
※申請者、小売電気事業者、需要家いずれか1事業者でもパートナーシップ構築の宣言をしていない場合は「宣言なし」を選択してください。
- ㉒ 地域未来牽引企業に選定されている事業者が本事業の需要家として参画しているかの有無を選択してください。参画している場合、その需要家名を全て記入してください。
- ㉓ 地域未来投資促進法に基づく地域経済牽引事業計画が各都道府県に承認されている事業者が本事業の需要家として参画しているかの有無を選択してください。参画している場合、その需要家名を全て記入してください。
- ㉔ 同一都道府県内にすべての発電所が設置され、発電所が設置されている都道府県にすべての需要地があるかの有無を選択してください。

(自動入力項目は次頁をご参照ください)

※公募要領1-5における第1要件に記載の連名申請を行う場合は、複数の申請者名を記入する必要があります。JPEA太陽光発電推進センター(以下、JP-PCという。)へ連絡し、必要な様式を入手してください。

# 様式第2（実施計画書）の記入方法 [2]

実施計画書	
申請者 住所 東京都港区新橋XXX-XXX	
法人の名称 株式会社 需要家太陽	
代表者氏名 太陽 太郎	
① 事業完了予定日	2027/2/26
② 補助対象設備の合計出力	3,500.0 kW
③ 蓄電池の導入容量の合計(補助対象設備分)	2,250.0 kWh
③ 蓄電池の導入容量の合計(補助対象設備以外も含む)	2,750.0 kWh
④ 補助事業に要する経費の合計額	872,225,000 円
補助対象設備の単価 (蓄電池を併設しない補助対象設備の単価)	212,462 円/kW
⑤ 補助対象設備の単価 (蓄電池を併設する補助対象設備(蓄電池を除く)の単価)	155,933 円/kW
蓄電池の単価	55,000 円/kWh
⑥ 補助対象設備の整備箇所数	3 箇所
⑦ 蓄電池の導入箇所数	2 箇所
⑧ 補助対象設備1箇所当たりの平均出力規模(AC)	1,166.7 kW/箇所
補助対象設備の平均積載率 (蓄電池を併設する補助対象設備)	142.5%
⑨ 補助対象設備の平均積載率 (蓄電池を併設しない補助対象設備)	90.0%
⑩ 系統からの充電の可能性有無(蓄電池を導入する場合)	有
⑪ 需要家による電気の利用に関する契約等の期間	8 年 2027年 2月26日 ~ 2035年 2月26日
⑫ 電気の利用に関する契約等を行う需要家の数(法人数)	3 社
⑬ 補助対象設備の1需要地当たりの平均出力規模	1,166.7 kW/箇所
⑭ 補助対象設備による発電量に対する需要家の買取率	85.6%
⑮ 補助対象設備による計画発電量 (想定稼働率)	4,607,760 kWh/年 15.0%
⑯ 補助対象設備によって発電した電気を供給する小売電気事業者の名称	XXXX電力株式会社
⑰ 補助対象設備の保守点検・維持管理の方法	発電設備の保守点検・維持管理について、発電所ごとに責任者を配置し、年に〇回程度の頻度で太陽電池モジュール等の設備の運転状況に関する点検を実施する他、毎日の巡回点検を行うとともに、雑草の除去等の清掃作業を年に〇回実施する。
⑱ 保険加入の計画	全ての発電所において、〇〇年〇〇月頃に火災保険及び第三者賠償保険への加入を予定している。
⑲ 補助対象設備の解体・撤去に係る廃棄等費用の確保の計画	廃棄費用について、廃棄等費用積み立てガイドライン等を参考に〇〇万円と試算。発電事業の実施中に年間〇〇万円規模の積み立てを〇〇において行い、計画的な積み立てを予定。また、発電所発電事業終了後は、発電所近所の〇〇などの中間処理事業者へ引き渡しを計画しており、可能な限りリサイクル等の資源回収を行わせて上で処分を行う。
⑳ 申請事業者、小売電気事業者、需要家全てのパートナーシップ構築宣言	発電事業者、小売電気事業者、需要家全て宣言あり
㉑ 地域未来牽引企業に選定されている需要家の参画	参画している 需要家名:株式会社 EEE電機
㉒ 地域経済牽引事業計画が各都道府県に承認されている需要家の参画	参画している 需要家名:株式会社 EEE電機
㉓ 同一都道府県内にすべての発電所が設置され、発電所が設置されている都道府県にすべての需要地がある	該当あり



## 【本様式全体に関わる留意点】

・網掛けのセルは、他の様式から自動転記、自動計算されますので、入力できません。

## 自動入力内容

- ② 様式第4-1の「①定格出力AC(kW)」の合計が転記されます。
- ③ 様式第4-1の「⑥-3補助対象蓄電池容量(kWh)」の合計が転記されます。「⑥-2蓄電池容量(kWh)」の合計が転記されます。
- ④ 様式第4-1の「⑬補助事業に要する経費(円)」の合計額が転記されます。
- ⑤ 様式第4-1の「⑰蓄電池を併設しない補助対象設備の単価(円/kW)」が転記されます。「⑰蓄電池を併設する補助対象設備(蓄電池を除く)の単価(円/kW)」が転記されます。「⑰蓄電池の単価(円/kWh)」が転記されます。
- ⑥ 様式第2 別紙2-1の「②補助対象発電所の総数」が転記されます。
- ⑦ 様式第4-1の「⑥\_1蓄電池の有無と接続位置」に関して「有」の合計数が転記されます。
- ⑧ 様式第2の「②合計出力/⑥補助対象設備の整備箇所数」の計算結果が転記されます。
- ⑨ 様式第4-1の「③-2積載率」の合計(平均値)が転記されます。「③-1積載率」の合計(平均値)が転記されます。
- ⑫ 様式第2 別紙2-2の「⑩需要家の総数」が転記されます。
- ⑬ 様式第2の「②合計出力/様式2 別紙2-2の⑩需要地の総数」の計算結果が転記されます。
- ⑭ 様式第4-2の「買取率(%)」が転記されます。
- ⑮ 様式第4-1の「⑤計画発電量(kWh/年)」の合計及び「④想定稼働率(%)」の合計(平均値)が転記されます。
- ⑯ 様式第2 別紙2-2の「小売電気事業者-①法人の名称」が転記されます。

※公募要領1-5における第1要件に記載の連名申請を行う場合は、複数の申請者名を記入する必要があります。JP-PCへ連絡し、必要な様式を入手してください。

## 様式第2 別紙2-1 (申請者情報)の記入方法

(様式第2) 実施計画書 (別紙2-1)	
申請者情報(発電事業者)	
① 申請事業者数	1 社
② 補助対象発電所の総数	3 箇所
申請事業者①	
③ 法人の名称	株式会社 需要家太陽
④ 法人の名称(カナ)	カブシキガイシャ ジュウウカタイヨウ
⑤ 法人番号	XXXXXXXX
⑥ 代表者氏名	太陽 太郎
⑦ 所在地	東京都港区新橋XXX-XXX
⑧ 代表電話番号	XX-XXXX-XXXX
⑨ 資本金	10,000 万円
⑩ 従業員数	300 人(正社員の数)
⑪ 主たる業種(日本標準産業分類の大分類・小分類の記号・番号・分類項目名記載)	F電気・ガス・熱供給・水道業- ③3311:発電業
⑫ 補助対象発電所の数	3 箇所
⑬ パートナーシップ構築宣言	宣言あり
⑭ 省エネ法定定期報告の開示制度 ※省エネ法特定事業者等	開示している
申請責任者①	
⑮ 氏名	太陽 三郎
⑯ 氏名(カナ)	タイヨウ サブロウ
⑰ 部署・役職	技術部 部長
⑱ 所在地	東京都港区新橋XXX-XXX
⑲ 電話番号	XX-XXXX-XXXX
⑳ 携帯電話番号	XXX-XXXX-XXXX
㉑ メールアドレス	Taiyou.saburou@juyoka.co.jp



【本様式全体に関わる留意点】  
・申請事業者の情報を記入してください。

申請事業者数を記入してください。  
※他シートの自動計算に使用するため、数字のみ記入してください。

様式第4-1に記入する発電所の総数を記入してください。  
※他シートの自動計算に使用するため、数字のみ記入してください。

申請事業者の情報を入力してください。他の書類と相違ないように記入してください。

③ 法人の名称を記入してください。  
※「添付3(申請者の商業登記簿謄本の写し)」の記載内容と一致するように記入してください。

⑥ 代表者氏名を記入してください。  
※「添付3(申請者の商業登記簿謄本の写し)」の記載内容と一致するように記入してください。

⑦ 所在地を記入してください。  
※「添付3(申請者の商業登記簿謄本の写し)」の記載内容と一致するように記入してください。

⑪ 主たる業種は日本標準産業分類の「分類コード」「項目名」を記入してください(以下URLを参照)。  
<https://www.e-stat.go.jp/classifications/terms/10>

⑬ 申請事業者のパートナーシップ構築宣言の有無を選択してください。

⑭ 省エネ法に基づく定期報告情報を開示する制度の開示有無を選択してください。

申請事業者の責任者の情報を記入してください。  
※申請書や申請内容について、問い合わせる場合があるので、必ず連絡可能な電話番号、メールアドレスを記入してください。  
※jGrants「申請担当者の連絡先」の入力内容と一致するように記入してください。

# 様式第2 別紙2-2 (関係者情報[小売電気事業者・需要家])の記入方法

(様式第2) 実施計画書  
(別紙2-2)

### 関係者情報 (小売電気事業者・需要家)

小売電気事業者に関する情報

① 法人の名称	XXX電力株式会社	
② 法人の名称(カナ)	バツバツバツデンリョクカブシキガイシャ	
③ 法人番号	XXXXXXXXXX	
④ 代表者の氏名	電力 次郎	
⑤ 所在地	東京都新宿区XXX XXX-XXX	
⑥ 代表電話番号	XX-XXXX-XXXX	
⑦ 資本金	200,000	万円
⑧ 従業員数	50	人(正社員の数)
⑨ パートナーシップ構築宣言	宣言あり	

需要家に関する情報

⑩ 需要家の総数	3 社	
⑪ 需要地の総数	3 箇所	
⑫ 需要家全ての直近1年間の取引関係(サブライゼーション型)	取引関係あり	需要家番号:②、③
⑬ 全ての需要家が同一市町村 <small>※またはエリアの一体性が説明できる場合</small>	YES	需要家番号:①

需要家①

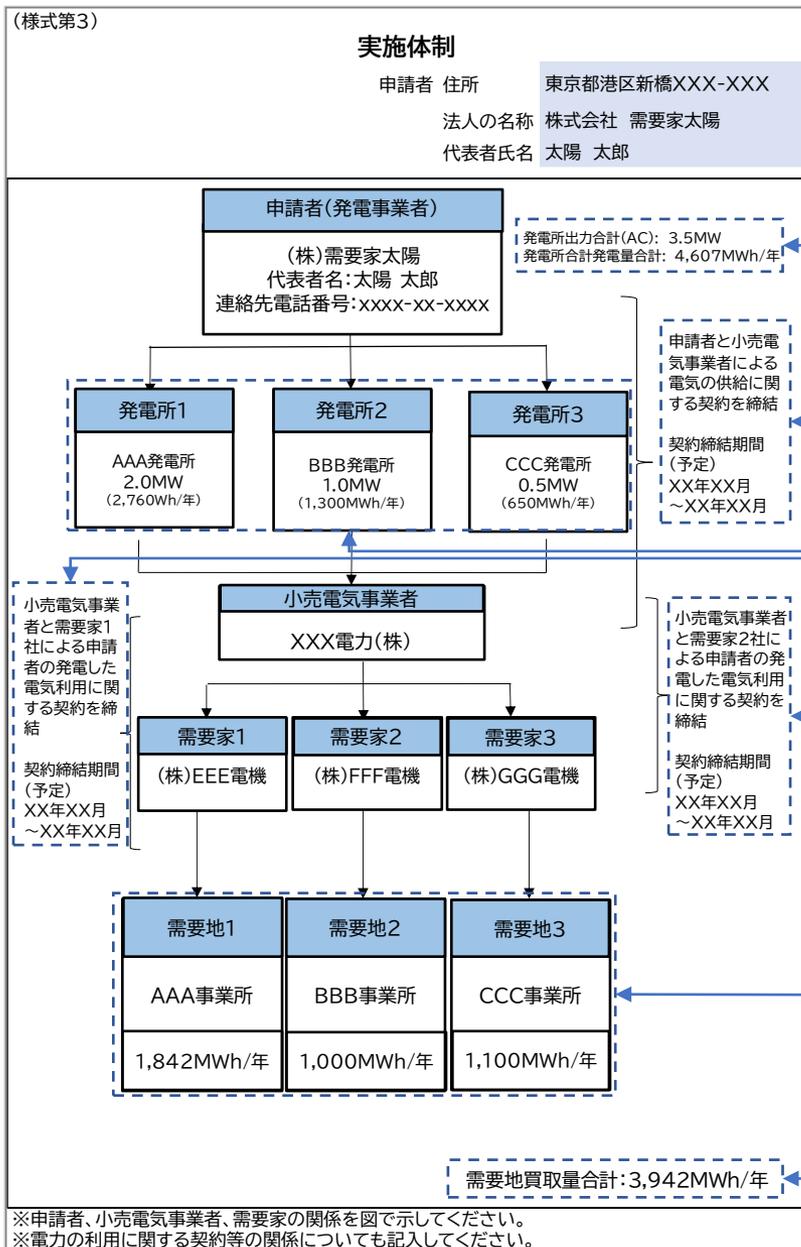
⑭ 法人の名称又は氏名	株式会社 EEE電機	
⑮ 法人の名称又は氏名(カナ)	カブシキガイシャイーイーデンキ	
⑯ 法人番号	XXXXXXXXXX	
⑰ 代表者の氏名	電機 五郎	
⑱ 所在地	東京都大田区XXX XXX-XXX	
⑲ 代表電話番号	XX-XXXX-XXXX	
⑳ 資本金	500,000	万円
㉑ 従業員数	500	人(正社員の数)
㉒ 主たる業種(日本標準産業分類の大分類・小分類の記号・番号・分類項目名記載)	E製造業- ㉑2911:発電機・電動機・その他の回転電気機械製造業	
㉓ 需要地の数	3 箇所	
㉔ パートナーシップ構築宣言	宣言あり	
㉕ 地域未来牽引企業の選定	選定されている	
㉖ 地域経済牽引事業計画の承認	承認されている	
㉗ 省エネ法定定期報告の開示制度 <small>※省エネ法特定事業者等</small>	開示している	

**!** 【本様式全体に関わる留意点】  
・小売電気事業者・需要家の情報を記入してください。

- 小売電気事業者の情報を記入してください。また、他の書類と相違ないように記入してください。
- ⑨ 小売電気事業者のパートナーシップ構築宣言の有無を選択してください。
  - ⑩ 需要家の総数を記入してください。
  - ⑪ 全需要家の需要地の総数を記入してください。
  - ⑫ 2者以上の需要家に供給する事業であって、全ての需要家がいずれか別の需要家と、直近1年間に於いて取引関係があるかどうかの有無を選択してください。また取引関係ありの場合、需要家番号をすべて記入してください。
  - ⑬ 2者以上の需要家に供給する事業であって、全ての需要家が同一市町村に属している場合、需要家番号をすべて記入してください。  
※ただし、同一市町村でない場合であっても、エリアの一体性が説明できる場合を含む。

- 需要家の情報を記入してください。また他の書類と相違ないように記入してください。  
※複数の需要家がいる場合は、表をコピーして、情報を追加記入してください。
- ⑳ 主たる業種は日本標準産業分類の「分類コード」「項目名」を記入してください(以下URLを参照)。  
<https://www.e-stat.go.jp/classifications/terms/10>
  - ㉒ 需要家のパートナーシップ構築宣言の有無を選択してください。
  - ㉕ 需要家の地域未来牽引企業への選定有無を選択してください。
  - ㉖ 需要家の地域経済牽引事業計画について承認有無を選択してください。
  - ㉗ 需要家の省エネ法に基づく定期報告情報を開示する制度について開示有無を選択してください。

# 様式第3 (実施体制)の記入方法



**【本様式全体に関わる留意点】**

- 電力の利用に関する契約等の関係が明らかになるように、申請者(発電事業者)、小売電気事業者、需要家の関係を図示してください。
- 必要に応じて、本様式の別紙として作成しても結構です。その場合は、「様式第3別紙」としてExcelにより作成してください。

発電所合計の出力(AC)、年間計画発電量を記入してください。  
 ※様式第4-1「①定格出力AC」「⑤計画発電量」の記載内容と一致するように記入してください。  
 ※単位換算は各様式間で統一するように記入してください。

申請者と小売電気事業者による電気の供給に関する契約の概要を記入してください。  
 別紙で作成することも構いません。

各発電の発電所名、発電所の出力(AC)、年間計画発電量を記入してください。  
 ※様式第4-1「発電所名」「①定格出力AC」「⑤計画発電量」の記載内容と一致するように記入してください。  
 ※単位換算は各様式間で統一するように記入してください。

小売電気事業者と需要家による申請者の発電した電気利用に関する契約の概要を記入してください。  
 別紙で作成することも構いません。

各需要地の需要地の名称、年間買取量を記入してください。  
 ※様式第4-2「需要地の名称」「需要地の買取量」の記載内容と一致するように記入してください。  
 ※単位換算は各様式間で統一するように記入してください。

需要地合計の買取量を記入してください。  
 ※様式第4-2「需要地の買取量」の記載内容と一致するように記入してください。  
 ※単位換算は各様式間で統一するように記入してください。

※申請者、小売電気事業者、需要家の関係を図で示してください。  
 ※電力の利用に関する契約等の関係についても記入してください。

# 様式第4-1 (補助対象設備の整備計画[総括表] 導入設備)における記入ファイルと留意事項



## 【本様式全体に関わる留意点】

- ・単年度事業と複数年度事業のうち、どちらの事業種別に応募申請するかによって、記入対象ファイルが異なります。本手引きは「複数年度事業」となりますので下記を参照のうえ、適切なファイルに記入してください。

## 複数年度事業 に応募する場合

記入対象ファイル

(様式第4-1)導入設備 (複数年度事業 3年度目)

(様式第4-1)導入設備 (複数年度事業 2年度目)

(様式第4-1)導入設備 (複数年度事業 1年度目)

発電所番号	合計		①	②	③.1	③.2	積載率 (蓄電池無し) (%)
	発電所名	設置場所住所	定格出力 AC(kW)	太陽電池容量 DC(kW)	積載率 (蓄電池併 設) (%)	積載率 (蓄電池無し) (%)	
			0.0	0.0	0.0%	0.0%	0.0%
1	XXX	YYY			0.0%	0.0%	0.0%
2	XXX	YYY			0.0%	0.0%	0.0%
3	XXX	YYY			0.0%	0.0%	0.0%
4	XXX	YYY			0.0%	0.0%	0.0%
...							

留意事項

- 複数年度事業に申請する場合は「様式第4-1導入設備(1年度目)」～「様式第4-1導入設備(3年度目)」シートから、申請する年度分のシートにのみ、記入してください。
- 網掛けのセルは他のセルや様式から自動転記・自動計算されるため、記入できません。網掛けのない空白のセルに記入してください。
- 各年度で変化しない項目(発電所名や太陽電池容量等)は、2年度目以降は自動入力されるため、1年度目のみ記入してください。
- **単年度用のファイルには記入しないでください。**

# 様式第4-1 (補助対象設備の整備計画[総括表] 導入設備)の記入方法 [1]

## 【本様式全体に関わる留意点】

- ・複数年度事業の場合は「様式第4-1導入設備(複数年度事業)ファイル」に記入してください。
- ・発電所100ヶ所まで利用可能なフォーマットとなります。発電所総数がこれを超える場合は、JP-PCへ連絡し、必要なツールを入手してください。
- ・網掛けのセルは、他の様式からの自動転記、自動計算なので記入できません。網掛けの無いセルに必要な事項を記入してください。
- ・各行には各発電所の情報を行を空けずに、順に記入してください。
- ・発電所番号は1から連番で記入してください。
- ・他セルからのコピー&ペーストによる記入は自動計算機能の誤作動を生じさせる可能性があるため、各セルにデータを記入する際は手動で記入してください。

(様式第4-1)		<b>補助対象設備の整備計画(総括表)</b>						
申請者 住所		東京都港区新橋XXX-XXX						
法人の名称		株式会社 需要家太陽						
代表者氏名		太陽 太郎						
1. 導入予定の設備・機器について								
様式4-1の合計は、いずれも自動計算・転記されます。			①	②	③_1	③_2	④	⑤
			定格出力 AC(kW)	太陽電池容量 DC(kW)	積載率 (蓄電池併 設) (%)	積載率 (蓄電池無し) (%)	想定稼働率 (%)	計画発電量 (kWh/年)
合計			3,500.0	3,900.0	142.5%	90.0%	15.0%	4,607,760.0
発電所 番号	発電所名	設置場所住所						
1	AAA発電所	埼玉県東松山市XXX XXXX-XX	2,000.0	1,800.0	0.0%	90.0%	15.2%	2,663,040.0
2	BBB発電所	埼玉県比企郡吉見町XXX XXXX-XX	1,000.0	1,350.0	135.0%	0.0%	14.8%	1,296,480.0
3	CCC発電所	埼玉県秩父市XXX XXXX-XX	500.0	750.0	150.0%	0.0%	14.8%	648,240.0

**【エラー例】**  
合計部分のセル背景が黄色(数字が赤色)になっている場合や各発電所の記入したセル背景がピンク色(数字が赤色)になっている場合は公募要件を満たしていないため再確認してください。

1,525.0
1,000.0
500.0
25.0

設置場所住所は各発電所の代表住所(地番)を都道府県名から記入してください。  
※添付4(1)地番リストに記載された「地番」の中から代表地番を記入してください。

**記入内容** ※以下、番号は上記の図中の番号を指す。

- ① パワーコンディショナの定格出力の合計を記入してください。ただし、②の出力よりも多い場合は、公募要領1-6.ivに従い、②の値を記入してください。
- ② 太陽電池モジュールの定格出力の合計を記入してください。
- ④ 各発電所の想定稼働率を記入してください(蓄電池を併設する場合は、蓄電池を設置したことを加味した稼働率とすること)。

**自動入力内容**

- ③\_1 蓄電池を併設する場合の積載率が記入されます。
- ③\_2 蓄電池を併設しない場合の積載率が記入されます。
- ⑤ ①×24時間×365日×④想定稼働率(%)の計算値が記入されます。

## 様式第4-1（補助対象設備の整備計画[総括表] 導入設備）の記入方法 [2]

⑥_1	⑥_2	⑥_3	⑦	⑧_1	⑧_2	⑨	⑩	⑪	⑫
蓄電池の有無と接続位置	蓄電池容量 (kWh)	補助対象蓄電池容量 (kWh)	接続検討等の回答の有無	設置形態	設置形態 (詳細) 建築物上設置の場合	土地造成の状況	設置場所(土地・建物等)の所有	運転開始予定日	設備の廃止予定日
	2,750.0	2,250.0						2027/2/26	2045/2/13
無		0.0	有	地上(野立て)		造成要・完了	所有	2027/2/26	2045/2/13
有・DC側接続	750.0	750.0	有	地上(野立て)		造成不要	所有	2027/2/26	2045/2/13
有・AC側接続	2,000.0	1,500.0	無	地上(野立て)		造成不要	所有	2027/2/26	2045/2/13

### 記入内容

- ⑥\_1 蓄電池の有無と、接続位置がパワーコンディショナのDC側かAC側か記入してください。
- ⑥\_2 蓄電池を設置する場合は、蓄電池の容量を記入してください。
- ⑦ 系統連系に係る接続検討申込等の回答の有無を選択してください。
- ⑧\_1 各発電設備の設置形態を、以下の選択肢から選んでください。  
●選択肢・・・地上(野立て)、地上(営農型)、  
地上(営農型)※荒廃農地の再生利用の場合、  
地上(水上型)、建築物上(新築)、建築物上(既築)
- ⑧\_2 各発電設備が建築物上の設置の場合、詳細について選択肢から選んでください。
- ⑨ 各発電設備の発電設備の土地造成の状況について、選択肢から選んでください。
- ⑩ 各発電設備の設置場所(土地・建物等)の所有状況について、選択肢から選んでください。
- ⑪ 各発電設備の運転開始予定日について、年/月/日を記入してください。合計には最も遅い日が記入されます。ただし、複数年度事業の場合は令和9年(2027)年2月26日を超えない範囲で記入してください。
- ⑫ 各発電設備の廃止予定日について、年/月/日を記入してください。未定の場合は「未定」と記入してください。合計には最も早い日が記入されます。

### 自動入力内容

- ⑥\_3 補助対象蓄電池容量(kWh)の計算値が記入されます。

# 様式第4-1 (補助対象設備の整備計画[総括表] 導入設備)の記入方法 [3]

⑬補助事業に要する経費(円)

合計	設計費			設備購入費					土地 造成費	工事費			接続費
	太陽光等	蓄電池に係 る経費	小計	太陽電池 モジュール	PCS	その他	蓄電池に係 る経費	小計		太陽光等	蓄電池に係 る経費	小計	
312,275,000	10,300,000	4,000,000	14,300,000	159,000,000	21,700,000	30,000,000	20,000,000	230,700,000	8,000,000	24,075,000	18,000,000	42,075,000	17,200,000
149,425,000	4,800,000		4,800,000	87,000,000	10,000,000	16,000,000		113,000,000	8,000,000	13,625,000		13,625,000	10,000,000
96,550,000	3,000,000	2,000,000	5,000,000	45,000,000	7,200,000	9,000,000	10,000,000	71,200,000	0	6,350,000	9,000,000	15,350,000	5,000,000
66,300,000	2,500,000	2,000,000	4,500,000	27,000,000	4,500,000	5,000,000	10,000,000	46,500,000	0	4,100,000	9,000,000	13,100,000	2,200,000

⑬ 補助対象事業の実施に要する総経費を記入してください。なお、交付決定前に着手済みの土地造成に要した補助対象外費用も、本欄の土地造成費に含めて記入してください。

※ 「蓄電池に係る経費」については、蓄電池の導入に伴って必要となる経費であることが明確な金額のみ記入してください。それ以外の設計費・工事費に関しては「太陽光等」に記入してください。

※ 複数年度事業に申請する場合は「様式第4-1導入設備(1年目)」～「様式第4-1導入設備(3年目)」シートから、申請する年度分のシートにのみ、記入してください。

⑭補助対象経費(円)

合計	設計費			設備購入費					土地 造成費	工事費			接続費	⑮適用される補助率	
	太陽光等	蓄電池に係 る経費	小計	太陽電池 モジュール	PCS	その他	蓄電池に係 る経費	小計		太陽光等	蓄電池に係 る経費	小計		太陽光等	蓄電池
312,275,000	10,300,000	4,000,000	14,300,000	159,000,000	21,700,000	30,000,000	20,000,000	230,700,000	8,000,000	24,075,000	18,000,000	42,075,000	17,200,000		
149,425,000	4,800,000		4,800,000	87,000,000	10,000,000	16,000,000		113,000,000	8,000,000	13,625,000		13,625,000	10,000,000	1/2	
96,550,000	3,000,000	2,000,000	5,000,000	45,000,000	7,200,000	9,000,000	10,000,000	71,200,000	0	6,350,000	9,000,000	15,350,000	5,000,000	1/2	1/3
66,300,000	2,500,000	2,000,000	4,500,000	27,000,000	4,500,000	5,000,000	10,000,000	46,500,000	0	4,100,000	9,000,000	13,100,000	2,200,000	1/2	1/3

⑭ ⑬のうち補助対象となる経費を記入してください。補助対象経費は、原則として、交付決定後に契約・発注等を行う設計費、設備購入費、土地造成費、工事費及び接続費を記入してください。なお、事前着手申請をする土地造成費は本欄に含めてください。補助対象経費の詳細は、公募要領を参考にしてください。

また、「蓄電池に係る経費」については、蓄電池の導入に伴って必要となる経費であることが明確な金額のみ記入してください。それ以外の設計費・工事費に関しては「太陽光等」に記入してください。

※ 複数年度事業に申請する場合は「様式第4-1導入設備(1年目)」～「様式第4-1導入設備(3年目)」シートから、申請する年度分のシートにのみ、記入してください。

⑮ 補助対象設備における補助率は、自治体連携型の場合は2/3以内、それ以外は1/3以内となります。但し、自治体連携型以外の場合で公募要領「1-7.補助率(2)」に記載の要件いずれかの場合、1/2以内を選択してください。各発電所ごとに補助率を選択してください。必ず「公募要領1-7.補助率」を確認し、記入してください。

※ 複数年度事業に申請する場合は「様式第4-1導入設備(1年目)」～「様式第4-1導入設備(3年目)」シートから、申請する年度分のシートにのみ、記入してください。

# 様式第4-1 (補助対象設備の整備計画[総括表] 導入設備)の記入方法 [4]

⑩補助金交付申請額(円)													
合計	設計費			設備購入費					土地 造成費	工事費			接続費
	太陽光等	蓄電池に係 る経費	小計	太陽電池 モジュール	PCS	その他	蓄電池に係 る経費	小計		太陽光等	蓄電池に係 る経費	小計	
415,612,496	18,150,000	3,333,333	21,483,332	192,500,000	50,500,000	38,150,000	18,666,667	299,816,665	19,000,000	31,462,500	18,000,000	49,462,499	25,850,000
212,462,500	8,900,000	0	8,900,000	107,000,000	25,500,000	19,750,000	0	152,250,000	19,000,000	17,312,500	0	17,312,500	15,000,000
123,950,000	5,500,000	1,666,667	7,166,667	54,500,000	16,600,000	11,500,000	9,333,333	91,933,333	0	8,350,000	9,000,000	17,350,000	7,500,000
79,200,000	3,750,000	1,666,667	5,416,667	31,000,000	8,400,000	6,900,000	9,333,333	55,633,333	0	5,800,000	9,000,000	14,800,000	3,350,000

## 自動入力内容

⑩ ⑭×⑮の計算結果が記入されます。

⑪補助対象経費の単価					
蓄電池を併設しない 補助対象設備		蓄電池を併設する補助対象設備 (蓄電池を除く)		蓄電池	
(円/kW)	単価計算用 経費	(円/kW)※DC	単価計算用 経費	(円/kWh)	単価計算用 経費
212,462	424,925,000	155,933	326,300,000	55,000	110,000,000
212,462	424,925,000	0	0	0	0
0	0	154,000	207,900,000	73,333	55,000,000
0	0	157,866	118,400,000	36,666	55,000,000

## 自動入力内容

⑪ 補助対象経費の「蓄電池を併設しない補助対象設備」「蓄電池を併設する補助対象設備(蓄電池を除く)」「蓄電池」単価は右図の通り算出されます。算出において、設計費や設備導入費等の各種費用については基本的に「⑭補助対象経費」を使用し、土地造成費のみ「⑬補助事業に要する経費における土地造成費」を使用します。

### ① 蓄電池を併設しない場合

(蓄電池を併設しない補助対象設備の単価)

$$\text{補助対象経費の単価 (万円/kW)} = \frac{\text{設計費} + \text{設備購入費} + \text{土地造成費} + \text{工事費} + \text{接続費 (円)}}{\text{太陽光発電設備の定格出力 (kW) (AC ベース)}}$$

### ② 蓄電池を併設する場合

(蓄電池を併設する補助対象設備 (蓄電池を除く) の単価)

$$\text{補助対象経費の単価 (万円/kW)} = \frac{\text{設計費} + \text{設備購入費} + \text{土地造成費} + \text{工事費} + \text{接続費 (円)}}{\text{太陽光発電設備の定格出力 (kW) (DC ベース)}}$$

(蓄電池の単価)

$$\text{蓄電池の単価 (万円/kWh)} = \frac{\text{蓄電池に係る以下の経費の合計 (設備購入費} + \text{工事費 (円))}}{\text{蓄電池の容量 (kWh)}}$$

※蓄電池の単価の算出に際しては、蓄電池を併設する補助対象設備 (蓄電池を除く) の単価と重複がないよう設計費等を設備ごとに区分すること。ただし、蓄電池設備を除き、区分することが困難な経費は、「蓄電池を併設する補助対象設備 (蓄電池を除く)」の単価に含めて算出すること。

## 様式第4-1（補助対象設備の整備計画[総括表] 導入設備）の記入方法 [5]

⑱_1_a	⑱_1_b	⑱_2	⑱_3	⑱_4	⑲	⑳	㉑	㉒	㉓
FIT/FIP認定を受けていない	FIT/FIPの申請中である	分割案件ではない	自己託送ではない	国から他の補助金を受けていない	脱炭素先行地域内に設置される設備である	自治体連携型の発電所である	緯度	経度	備考
YES	NO	YES	YES	YES	YES	NO			
YES	NO	YES	YES	YES	YES	NO	36.000000	150.000000	
YES	NO	YES	YES	YES	YES	NO	36.000000	140.000000	
YES	NO	YES	YES	YES	YES	NO	36.000000	140.000000	

### 記入内容

⑱\_1\_a FIT/FIP認定を受けていない場合は「YES」を選択してください(各発電所全てが「YES」にならないと、エラーになります)。

⑱\_1\_b FIT/FIP認定を申請中の場合は「YES」、その他は「NO」を選択してください。FIT/FIPの認定を申請中の発電所は、本事業に採択された場合、FIT/FIPの申請を取り下げさせていただきます。

⑱\_2 分割案件ではないことを確認した場合は「YES」を選択してください(各発電所全てが「YES」にならないと、エラーになります)。

⑱\_3 自己託送ではない場合は「YES」を選択してください(各発電所全てが「YES」にならないと、エラーになります)。

⑱\_4 国から他の補助金を受けていない場合は「YES」を選択してください(各発電所全てが「YES」にならないと、エラーになります)。

⑲ 脱炭素先行地域に選定された地域内に太陽光発電設備を設置し、当該地域内の需要家に電気を供給するものであって、当該脱炭素先行地域の選定に当たって自治体が提案した計画に位置づけられているもの場合は「YES」、それ以外は「NO」を選択してください。

⑳ 自治体連携型「①補助対象事業者(地方公共団体及び地方公営企業を除く)が、地方公共団体が所有する土地に補助対象設備を設置して補助事業を実施する場合・②地方公共団体が資本金の過半を出資する補助対象事業者又は地方公共団体及び地方公営企業が、当該地方公共団体内に需要地を有する者を需要家として補助事業を実施する場合」の発電所の場合は「YES」、それ以外は「NO」を選択してください。

㉑ 補助対象設備である発電所が位置する緯度を記入してください。

㉒ 補助対象設備である発電所が位置する経度を記入してください。

㉓ 連名申請の場合のみ、申請者番号を記入してください。

# 様式第4-1 (補助対象設備の整備計画[総括表] 整備スケジュール:複数年度事業)の記入方法

**【本様式全体に関わる留意点】**  
 ・複数年度事業に申請する場合は「様式第4-1整備スケジュール(複数年度事業)」のシートに記入してください。

系統連系手続きの申込/完了の日程は、系統連系契約の申込/完了予定日を記入してください。 (画(総括表))

2. 整備スケジュール

実施項目		日程	～令和6年5月	6～8月	9～11月	12～令和7年2月	令和7年3月～5月	6～8月	
系統連系手続き	申込	2024/6/20							
	完了	2025/10/10							
	支払	1年度目	-						
		2年度目	2025/11/27						
3年度目		-							
連系工事	着手	2025/12/15							
	完了	2026/2/20							
	支払	1年度目	-						
		2年度目	2026/3/27						
3年度目		-							
設計	着手	2024/9/2							
	完了	2024/9/30							
	支払	1年度目	2024/11/27						
		2年度目	-						
3年度目		-							
設備手配	着手	2024/10/1							
	完了	2026/7/1							
	支払	1年度目	2024/11/27						
		2年度目	2025/11/27						
3年度目		2026/11/27							
土地造成工事	着手	2025/1/20							
	完了	2025/7/20							
	支払	1年度目	-						
		2年度目	2025/8/27						
3年度目		-							
使用前自主検査/使用前自己確認	完了	2027/1/20							
運転開始(送電)	運転	2027/2/26							

「工事負担金支払い完了」日については、系統連系手続きの「支払」日に記入してください。

支払期日を記入願います。なお、支払いタイミングが年度をまたいで複数回発生する場合は、各年度での最終支払期限を記入してください。なお、支払いが発生しない予定の年度の欄には「-」を記入してください。

左記の日程に合わせ、事業全体のスケジュールを線表を用いて作成してください。なお、各発電所毎ではなく、全体的なスケジュールとして作成してください。

## 様式第4-2 (補助対象設備による電気の利用の計画)の記入方法

### 【本様式全体に関わる留意点】



- ・需要地100か所まで利用可能なフォーマットとなります。需要地総数がこれを超える場合は、JP-PCへ連絡し、必要なツールを入手してください。
- ・網掛けのセルは、他の様式からの自動転記、自動計算なので入力できません。網掛けの無いセルに必要な事項を入力してください。
- ・各行には各需要地の情報を行を空けずに、順に記入してください。
- ・需要地番号は1から連番で記入してください。
- ・他セルからのコピー&ペーストによる記入は自動計算機能の誤作動を生じさせる可能性があるため、各セルにデータを記入する際は手動で記入してください。

### 自動入力内容

- 総計画発電量: 様式第4-1⑤の総計画発電量が転記されます。
- 買取率(%)全体: 買取率が自動計算されます。
- 買取率(%)中小企業のみ: 中小企業の買取率のみが自動計算されます。

### (様式第4-2) 補助対象設備による電気の利用の計画

申請者 住所 東京都港区新橋XXX-XXX  
 法人の名称 株式会社 需要家太陽  
 代表者氏名 太陽 太郎

総計画発電量(kWh/年) 4,607,760  
 買取率(%)全体 86%  
 買取率(%)中小企業のみ 40%

需要地番号	需要家番号	需要地の名称	需要地の所在地	中小企業の買取量(kWh/年)	電話番号	需要地の種類	需要地の買取量(kWh/年)	需要地の年間の電力使用量(kWh/年)
		合計		1,842,000			3,942,000	9,999,999
				中小企業				
1	1	AAA事業者	東京都大田区XXX X-X-X	YES	03-XXXX-XXXX	事務所	1,842,000	3,333,333
2	2	BBB事業者	東京都港区XXX X-X-X	NO	03-XXXX-XXXX	事務所	1,000,000	3,333,333
3	3	CCC事業者	神奈川県川崎市川崎区XXX X-X-X	NO	044-XXX-XXX	事務所	1,100,000	3,333,333

### 記入内容

- 需要家番号、各需要地の名称を記入してください。  
※「様式3(実施体制)」の記載内容と一致するように記入してください。
- 需要地の所在地、中小企業の電力の買取有無、電話番号を記入してください。

### 記入内容

- 需要地の種類: 各需要地の種類を選択してください。
- 需要地の買取量: 各需要地において、補助対象設備による電気を利用する電力の買取量を記入してください。  
※「様式3(実施体制)」の記載内容と一致するように記入してください。
- 需要地の年間電力使用量: 各需要地の直近1年間の電力使用量を記入してください。

# 様式第4-3 (補助対象設備の設備構造図)の記入方法

## 【本様式全体に関わる留意点】

- ・蓄電池を併設しない場合は、本様式を使用してください。
- ・様式4-1に記載する発電所ごとに作成してください。
- ・設置場所の地図上に、以下に記載した図面を提出してください。なお、別紙で作成した画像等をExcelに貼り付けてもいただく形でも構いません。
  - ・機器配置図(レイアウト)
  - ・パネルの主な仕様(メーカー・出力・枚数等) ※様式第4-1「②太陽電池容量DC」の記載内容と一致するように記入してください。
  - ・パワコンの主な仕様(メーカー・出力等) ※様式第4-1「①定格出力AC」の記載内容と一致するように記入してください。
  - ・受変電設備等の位置

(様式第4-3) 補助対象設備の設備構造図

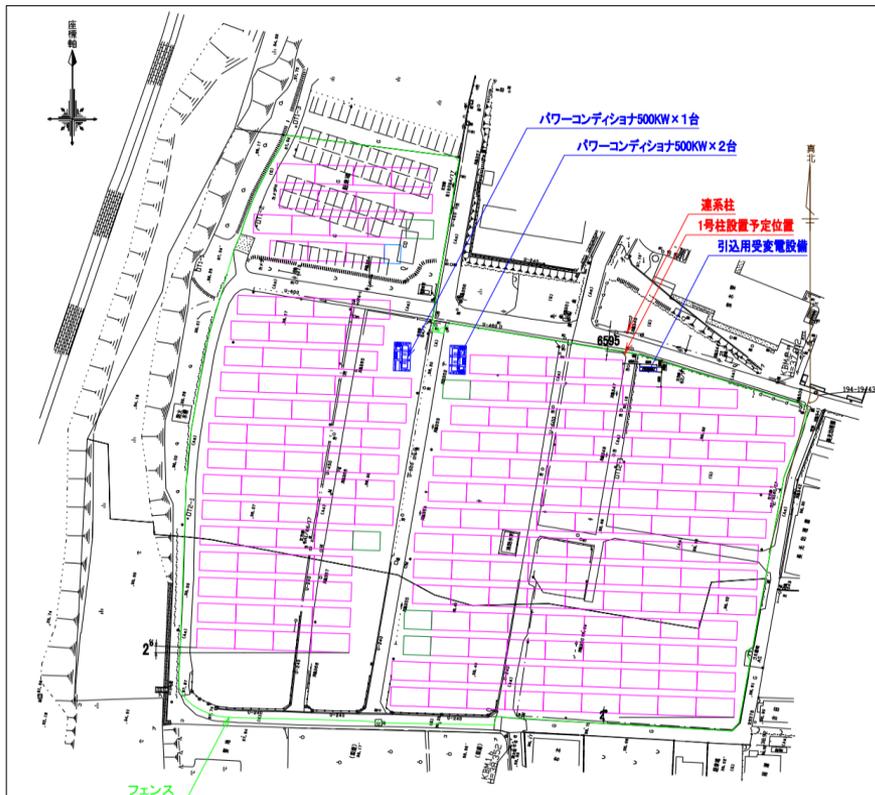
発電所番号  発電所名

申請者 住所 東京都港区新橋XXX-XXX  
 法人の名称 株式会社 需要家太陽  
 代表者氏名 太陽 太郎

システム構成図・設置図、設置機器等を記載のごと

太陽電池モジュール、PCS、その他

NO	設備内訳		型番	定格出力	数量	備考
	設備種別	メーカー				
1	太陽電池モジュール	XXXXXXXX	XXXX-250X	250	5000	
2	太陽電池モジュール	XXXXXXXX	XXXX-50X	50	5000	
3	PCS	XXXXXXXX	XXXXXXXX-A	500	1	
4	PCS	XXXXXXXX	XXXXXXXX-B	500	2	
5						
6						
7						
8						
9						
10						



# 様式第4-3 (補助対象設備の設備構造図[蓄電池併設])の記入方法

## 【本様式全体に関わる留意点】

- 蓄電池を併設する場合は、本様式を使用してください。
- 様式4-1に記載する発電所ごとに作成してください。
- 設置場所の地図上に、以下に記載した図面を提出してください。なお、別紙で作成した画像等をExcelに貼り付けてもいただく形でも構いません。
  - 蓄電池を含む機器配置図(レイアウト)
  - パネルの主な仕様(メーカー・出力・枚数等) ※様式第4-1「②太陽電池容量DC」の記載内容と一致するように記入してください。
  - パワコンの主な仕様(メーカー・出力等) ※様式第4-1「①定格出力AC」の記載内容と一致するように記入してください。
  - 受変電設備等の位置

## (様式第4-3) 補助対象設備の設備構造図

蓄電池に係る設備や名称等を記入してください。

発電所番号  発電所名

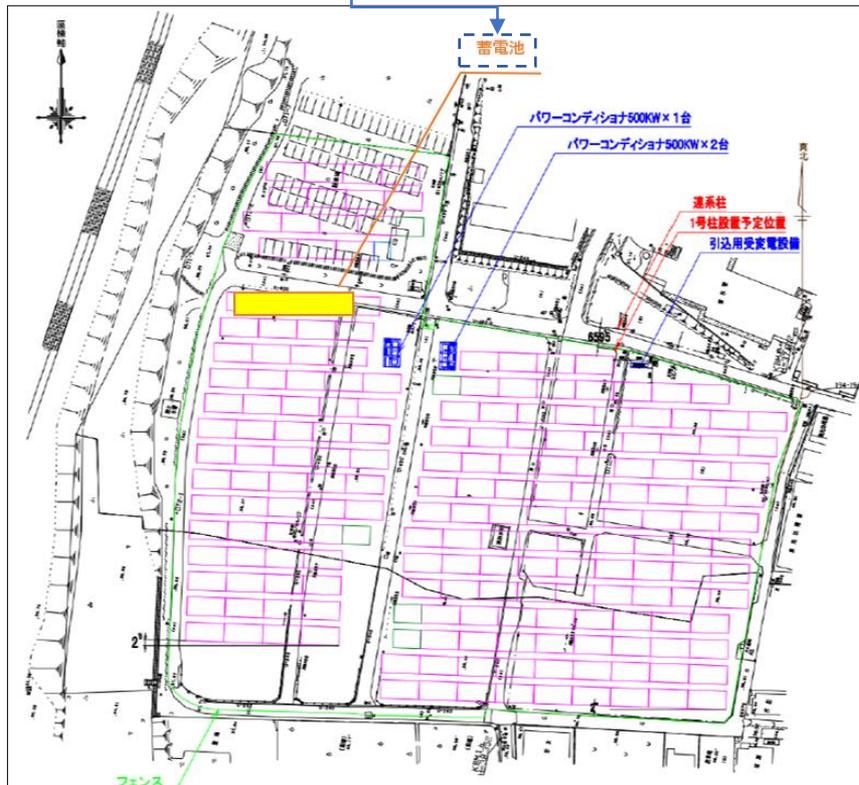
申請者 住所 東京都港区新橋XXX-XXX  
 法人の名称 株式会社 需要家太陽  
 代表者氏名 本藤 太郎

システム構成図・設置図、設置機器等を記載のこと  
 ・蓄電システム制御装置のプログラムの更新実施者が当該制御装置のメーカーと異なる場合には、備考欄にプログラムの更新実施者を明記してください  
 ・太陽電池モジュール、PCS、その他

図内に蓄電池の設置予定場所を明記してください。

NO	設備内訳		型番	定格出力	数量	備考
	設備種別	メーカー				
1	太陽電池モジュール	XXXXXXX	XXX-250X	250	5000	
2	太陽電池モジュール	XXXXXXX	XXX-50X	50	5000	
3	PCS	XXXXXXX	XXXXXX-A	500	1	
4	PCS	XXXXXXX	XXXXXX-B	500	2	
5						
6						
7						
8						
9						
10						

蓄電池部分						
NO	設備内訳		メーカー	型番	数量	備考
	設備種別	設備名称				
1	蓄電池部	XXXX	XXXX	XXXX	XXXX	
2	蓄電池部制御部分	XXXX	XXXX	XXXX	XXXX	
3	電力変換装置	XXXX	XXXX	XXXX	XXXX	
4	蓄電システム制御装置	XXXX	XXXX	XXXX	XXXX	
5						
6						
7						
8						
9						
10						



型式試験に適合している  YES  
 故障や自然災害など有事の際のレジリエンス確保  YES  
 蓄電池の製造・加工・販売等の事業を行う者の廃棄物処理法上の広域認定の取得  YES

# 様式第5（資金計画）の記入方法

(様式第5)

資金計画

申請者 住所 東京都港区新橋 XXX-XXX  
氏名 株式会社 需要家太陽  
代表取締役 太陽太郎

1. 資金調達計画

項目	金額 (円)	備考
補助事業に要する経費	XXX,XXX,XXX 円	
うち、補助金交付申請 (充当予定) 額	XXX,XXX,XXX 円	
自己資金	XXX,XXX,XXX 円	
金融機関等からの借入金	XXX,XXX,XXX 円	借入条件： 補助対象設備の担保の有無 <input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
その他の収入金	XXX,XXX,XXX 円	

2. 借入金がある場合、借入金返済計画の詳細  
※借入金がある場合は、「借入金返済計画」を別紙5-1 (様式自由) として添付してください。

3. 収入金がある場合、収入金の詳細



## 【本様式全体に関わる留意点】

- ・本様式はWordファイル“様式第5”で提供します。
- ・記入すべき箇所以外の内容を変更しないでください。

申請者の住所、法人の名称、代表者の氏名を記入してください。  
※「添付3(申請者の商業登記簿謄本の写し)」の記載内容と一致するように記入してください。

資金計画について、記入してください。  
なお、複数年度事業の場合においても、全期間分の合計経費を記入してください。  
※「補助事業に要する経費」は様式第4-1の「⑬補助事業に要する経費(円)」の合計金額を記入してください。  
※「補助金交付申請額」は様式第4-1の「⑭補助金交付申請額(円)」の合計金額を記入してください。

担保がある場合は「有」に○をしてください。

借入金のある場合、別紙5-1(様式自由)として、資料を添付してください。

# 様式第6（事前着手申請書）の記入方法

(様式第6)

一般社団法人太陽光発電協会  
代表理事 山口 悟郎 殿

申請者 住所 東京都港区新橋 XXX-XXX  
氏名 株式会社 需要家太陽  
代表取締役 太陽太郎

令和6年度予算需要家主導型太陽光発電導入支援事業費事前着手申請書

需要家主導型太陽光発電導入支援事業費の応募申請中である以下の事業について、下記のとおり交付決定前に着手いたしたく、申請します。

なお、本件について交付決定がなされなかった場合、または交付決定額が交付申請額に達しない場合においても異議は申し立てません。

記

1. 補助事業の名称 需要家主導型太陽光発電導入支援事業

2. 補助事業の実施にあたり、事前着手が必要である理由  
太陽光発電設備の整備に際して、事前に見積もり等を求めたところ、太陽電池モジュール及びパワーコンディショナの調達について〇〇等の原因から〇か月の期間を要することが見込まれるため、早期の発注が必要であることが判明した。そのため、確実に事業を完了するためには〇月中旬までの注文の確定が必要であることから、事前着手の申請を行う。

3. 事前着手を要する契約等：

事前着手を要する発電所番号	事前着手を要する蓄電池番号	事前着手を要する補助対象経費の項目	事前着手を要する補助対象経費の具体的な内容	着手（予定）の年月日	事前着手に要する経費の額（円）
1		設備購入費	太陽電池モジュール〇〇kW PC500kW× 〇台	2024年XX月 XX日	X,XXX,XXX円

4. 担当者連絡先

申請者名（法人番号）	株式会社 需要家太陽(XXXXXXXXXXXXXX)
連絡先住所	東京都港区新橋 XXX-XXX
部署名	技術部
担当者氏名	太陽太郎
連絡先電話番号	XXX-XXXX-XXXX
連絡先メールアドレス	Taiyou.saburou@juyouka.co.jp

以上



### 【本様式全体に関わる留意点】

- ・本様式はWordファイル“様式第6”で提供します。
- ・記入すべき箇所以外の内容を変更しないでください。

作成日を記入してください。

申請者の住所、法人の名称、代表者の氏名を記入してください。  
※「添付3(申請者の商業登記簿謄本の写し)」の記載内容と一致するように記入してください。

2. 事前着手申請が必要である理由について、詳細に記入してください。

事前着手を要する発電所番号、経費の項目、経費の具体的な内容、着手予定日、経費の額を記入してください。  
※事前着手を要する発電所が複数の場合は、発電所毎に分けて記入してください。

3. また、蓄電池に係る経費を事前着手申請する場合には、事前着手を要する蓄電池番号の欄を記入してください。なお、蓄電池番号は、様式第4-3補助対象設備の設備構造図(蓄電池併設)の表における「No.」を指します。

4. 担当者の連絡先を記入してください。内容について問い合わせる場合があるので、必ず連絡可能な電話番号、メールアドレスを記入してください。

### 決算報告書

第××期  
令和5年●月～令和6年●月

□□株式会社



#### 【本様式全体に関わる留意点】

・申請者の法人名がわかる表紙をつけた直近1年分の決算書を提出してください。

- 開業1年未満の場合は資本や資産などの状況がわかる書類を添付してください。
- 合同会社の場合は、出資元企業の直近1年分の決算書を添付してください。

### 貸借対照表 ●年●月●日現在

資産の部	負債の部
(流動資産)	(流動負債)
(固定資産)	(固定資産)
	負債合計
	純資産の部
	純資産合計
資産合計	負債、及び純資産合計

# 添付3 申請者の商業登記簿謄本の写し

## 履歴事項全部証明書

東京都千代田区〇〇町一丁目1番1号  
株式会社△△

会社法人等番号	0000-00-000000
商号	株式会社 需要家太陽
本店	東京都港区新橋×××-×××
公告をする方法	官報に掲載してする
会社成立の年月日	令和1年10月11日
目的	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 経営コンサルティング</li> <li>2. 不動産の売買、交換、賃貸及び管理</li> <li>3. 卸売業・小売業</li> <li>4. インターネットを活用したマーケティング</li> <li>5. 株式の保有及び管理</li> <li>6. イベント、セミナー等の企画、運営</li> <li>7. 前各号に附帯関連する一切の業務</li> </ol>
発行可能株式総数	1万株
発行済株式の総数並びに種類及び数	発行済株式の総数 100株
資本金の額	金100万円
株式の譲渡制限に関する規定	当会社の発行する株式の譲渡による取得については、株主総会の承認を受けなければならない。
役員に関する事項	取締役 太陽 次郎 東京都中央区〇〇町五丁目1番1号 代表取締役 太陽 太郎
登記記録に関する事項	設立 令和 1年10月11日登記

整理番号 ア000000

\* 下線のあるものは抹消事項であることを示す。

1/2



### 【本様式全体に関わる留意点】

・法務局発行および公募申請日から3カ月以内に発行されたもの、且つ全てのページを提出してください(Webでのダウンロードは不可となります)。

他様式に法人の名称、申請者の住所(正式表記)、代表者の氏名等の申請者情報を記入する場合は、提出する商業登記簿謄本と一致するように記入してください。





# 添付5(1) 補助対象設備を導入する土地の登記簿謄本、売買契約書又は賃貸借契約書の写し [1]

表題部 (土地の表示)		課税	平成16年5月19日	不動産番号	000000000001
地図番号	J11-1	筆界特定	[余白]		
所在	大里郡熊谷町大字新橋字港		[余白]		
	熊谷市大字新橋字港		平成19年2月13日変更 平成19年3月26日登記		
①地番	②地目	③地積	m <sup>2</sup>	原因及びその日付【登記の日付】	
111番1	山林	459	[余白]	[余白]	
[余白]	[余白]	478	[余白]	③錯誤 国土調査による成果 【昭和58年9月13日】	
[余白]	[余白]	[余白]	[余白]	昭和63年法務省令第37号附則第2条第2項 の規定により移記 平成16年5月19日	
権利部 (甲区) (所有権に関する事項)					
順位番号	登記の目的	受付年月日・受付番号	権利者その他の事項		
1	所有権移転	昭和41年3月31日 第3910号	原因 昭和27年7月13日相続 所有者 熊谷市大字新橋字港222番地 山田花子 順位3番の登記を移記		
[余白]	[余白]	[余白]	昭和63年法務省令第37号附則第2条第2項 の規定により移記 平成16年5月19日		
2	所有権移転	平成25年1月17日 第1168号	原因 平成23年8月24日相続 所有者 熊谷市大字新橋字港222番地 山田太郎		
3	所有権移転	令和1年6月21日 第14536号	原因 平成30年9月1日相続 所有者 港区新橋111番地 太陽太郎		
権利部(乙区)(所有権以外の権利に関する事項)					
順位番号	登記の目的	受付年月日・受付番号	権利者その他の事項		
1	地上権設定		原因 目的 存続期間 地位 地上権者 港区新橋111番地 太陽太郎 順位1番の登記を移記		
付記1号	1番地上権移転				
	余白	余白			
これは登記記録に登録されている事項の全部を証明した書面である。					
令和6年7月1日	さいたま地方法務局	登記官	発電花子	[印]	
* 下線のあるものは抹消事項であることを示す。 整理番号 A12341 (1/1) 2/2					

**【本様式全体に関わる留意点】**  
 ・法務局発行および公募申請日から3カ月以内に発行されたもの、且つ全てのページを提出してください(Webでのダウンロードは不可となります)。

地番が添付4(1)地番リストに記載の地番と一致しているものを提出してください。

所有権が申請者と一致しているものを提出してください。  
 ※一致していない場合は売買契約書又は賃貸借契約書を提出してください。

地上権設定契約の場合、地上権者が申請者となっているものを提出してください。

発行日の記載がある頁も提出してください。

# 添付5(1) 補助対象設備を導入する土地の登記簿謄本、売買契約書又は賃貸借契約書の写し [2]

**土地売買契約書**

売主 ●●●●  
買主 ●●●●

1.目的及び価格  
2.手付金  
3.引渡義務  
4.支払方法  
5.費用の負担  
6.契約の解除

土地の所在地

東京都港区●●1-1-1

日付 ●年●月●日

売主 ●●●● (印)  
買主 ●●●● (印)

 **【本様式全体に関わる留意点】**  
・地権者と売買契約を締結している場合は契約書を提出してください。

売主、買主の記載があり、買主に申請者の名前が確認できるものを提出してください。  
※売主が謄本上の所有者と一致しているものを提出してください。

土地の所在地が発電所の設置場所と一致しているものを提出してください。

契約日が確認できるものをご提出してください。

売主、買主の署名、捺印が確認できるものを提出してください。

# 添付5(1) 補助対象設備を導入する土地の登記簿謄本、売買契約書又は賃貸借契約書の写し [3]

**土地賃貸借契約書**

賃貸人 ●●●●  
賃借人 ●●●●

1.目的

2.契約期間 20●●~20●●

3.賃料

4.保証金

5.譲渡、転貸

6.契約の解除

土地の所在地  
東京都港区 ●●1-1-1

日付 ●年●月●日

賃貸人 ●●●●  
賃借人 ●●●●  
(保証人) ●●●●

**【本様式全体に関わる留意点】**  
・地権者と賃貸契約を締結している場合は契約書を提出してください。

賃貸人、賃借人の記載があり、賃借人に申請者の名前が確認できるものを提出してください。  
※賃貸人が謄本上の所有者と一致しているものを提出してください。

小売電気事業者と需要家の電力需給契約期間満了までの、賃貸契約が確認できるものを提出してください。

土地の所在地が発電所の設置場所と一致しているものを提出してください。

契約日が確認できるものを提出してください。

賃貸人、賃借人、保証人(該当する場合)の署名、捺印が確認できるものを提出してください。



# 添付7 補助対象設備の系統連系に係る接続検討の回答 [2]

【受電地点特定番号 [ ] 年 [ ] 月 [ ] 日

様

接続契約のご案内

毎度お引立てに預かり厚くお申しあげます。  
このたびは接続契約に関するお申込みをいただきありがとうございます。  
つきましては、[ ]年[ ]月[ ]日 No. [ ]にて、お申込みいただきました内容について、協議をさせていただきます結果を下記のとおりご案内申し上げます。

発電場所	[ ]		
発電所名	[ ]	標準電圧	[ ]ボルト
接続開始予定日	[ ]年[ ]月[ ]日		
発電出力	[ ]キワット	再生可能エネルギー発電設備	太陽光
		発電設備	[ ]キワット
最大受電電力	[ ]キワット	インバータ	[ ]キワット
その他の自家発電設備等	[ ]		
工事費負担金	再生可能エネルギー発電設備からの電力供給契約要綱（以下「契約要綱」といいます。）による工事費負担金 [ ]円（うち消費税等相当額 [ ]円）		
工事費負担金の支払期日	[ ]年[ ]月[ ]日	工事着手予定月（工事所要日数）	[ ]年[ ]月[ ]日
工事概要等	<ol style="list-style-type: none"> <li>[ ]年[ ]月[ ]日付接続検討回答書記載の工事概要によります。</li> <li>本契約により施設した電気設備は、当社の所有となります。</li> <li>上記工事費は、工事完成後、すみやかに過不足精算させていただきます。なお、法令の改正による消費税率変更後に工事が落成した場合には、変更後の税率で精算させていただきます。</li> <li>工事着手後において、発電者が申込みを取消または変更した場合、使用を延期したために損害が生じた場合は、当社は、これらに要した費用を発電者から申し受けます。</li> <li>接続開始日以降、法令に定める受電用計量器等の取り替えに関わる工事について、当社は、その工事費を工事着手前に発電者から申し受けます。</li> <li>本契約は、当社の契約要綱によるものとします。</li> <li>上記内容と契約要綱との間に齟齬が生じた場合は、内容の変更又は修正する趣旨であることが明確に記載されたものである場合を除き、契約要綱の内容が優先するものとします。</li> </ol>		
「再エネ出力制御」に関する同意事項	<ol style="list-style-type: none"> <li>電気の供給量がその需要量を上回ることが見込まれる場合で、弊社が回避措置を実施してもなお供給量が需要量を上回る場合には、弊社の指示に従い無補償での出力制御（オンライン制御）を実施することを前提に、系統連系開始までに出力制御に必要な機器*を導入の上、設置（切替）完了後、当社までご連絡ください。当社への同設置（切替）完了連絡後に受給開始日を協議させていただきます。</li> <li>出力制御機器の導入や出力制御は当社の求めに応じていただきます。</li> <li>上記1～2により被る損害および事前周知した方法に基づく出力制御に伴う貴社の受けた損害につきまして、当社は賠償の責めを負わないものといたします。</li> </ol> <p>* 当社出力制御指示と連動する出力制御ユニットおよび、出力制御対応パワーコンディショナー（PCS）等必要な装置をいいます。</p>		

以上



## 【本様式全体に関わる留意点】

・系統連系に係る契約申込後、連系承諾している場合は、承諾に係る証憑を提出してください。

宛先が申請事業者になっているかを確認してください。  
※申請事業者ではない場合、権利移転書を提出してください。

発電場所(住所)が様式4-1導入設備の設置場所住所又は添付4(1)地番リストに記載の住所と一致していることを確認してください。

発電所名が様式4-1導入設備の発電所名と一致していることを確認してください。

接続開始予定日が公募開始日～事業完了日となっていることを確認してください。

発電出力が様式4-1導入設備の定格出力AC(kW)と一致していることを確認してください。  
※相違している場合は、その理由を証する説明書を提出してください。

# 添付11（関係法令手続状況の説明資料）の記入方法 [1]

(添付11)

### 関係法令手続状況の説明資料

申請者 住所 東京都港区新橋XXX-XXX  
 法人の名称 株式会社 需要家太陽  
 代表者氏名 太陽 太郎

令和6年度予算需要家主導太陽光発電導入促進事業の申請に関し、補助対象設備の設置場所に係る関係法令(条例・規則を含む。)及び当該法令の手続状況を下記のとおり提出します。

発電所番号 1 作成日 2024/XX/XX  
 発電所住所 埼玉県東松山市XXX-XXXX-XX

1. 発電設備の設置場所に係る関係法令への該当状況(注1)

項 目	該当の有無	現況 (有の場合のみ)		確認・手続先
		<input type="checkbox"/> 該当有 <input type="checkbox"/> 該当無 <input type="checkbox"/> 確認中	<input type="checkbox"/> 手続済 <input checked="" type="checkbox"/> 手続中 <input type="checkbox"/> 手続予定 (年 月予定)	
1 国土利用計画法に基づく 土地売買等届出	<input checked="" type="checkbox"/> 該当有 <input type="checkbox"/> 該当無 <input type="checkbox"/> 確認中	<input type="checkbox"/> 手続済 <input checked="" type="checkbox"/> 手続中 <input type="checkbox"/> 手続予定 (年 月予定)	確認日: 2023/12/13 部署: ○○市建設部都市計画課 担当者名(役職): 建設太郎(係長) 連絡先(TEL): 0000-00-0000	
2 都市計画法に基づく開発 許可	<input checked="" type="checkbox"/> 該当有 <input type="checkbox"/> 該当無 <input type="checkbox"/> 確認中	<input type="checkbox"/> 手続済 <input type="checkbox"/> 手続中 <input type="checkbox"/> 手続予定 (年 月予定)	確認日: 2023/12/13 部署: ○○市建設部都市計画課 担当者名(役職): 建設太郎(係長) 連絡先(TEL): 0000-00-0000	
3 宅地造成及び特定盛土等 規制法に基づく工事許可	<input checked="" type="checkbox"/> 該当有 <input type="checkbox"/> 該当無 <input type="checkbox"/> 確認中	<input type="checkbox"/> 手続済 <input checked="" type="checkbox"/> 手続中 <input type="checkbox"/> 手続予定 (年 月予定)	確認日: 2023/12/13 部署: ○○市建設部都市計画課 担当者名(役職): 建設太郎(係長) 連絡先(TEL): 0000-00-0000	
4 河川法に基づく工作物の 新築等の許可、河川区域 内の土地占用・掘削許可	<input checked="" type="checkbox"/> 該当有 <input type="checkbox"/> 該当無 <input type="checkbox"/> 確認中	<input type="checkbox"/> 手続済 <input type="checkbox"/> 手続中 <input type="checkbox"/> 手続予定 (年 月予定)	確認日: 2023/12/13 部署: ○○市河川整備課 担当者名(役職): 河川一郎(主任) 連絡先(TEL): 0000-00-0000	
5 港湾法に基づく港湾区域 内の水域又は港湾隣接地 域における占用の許可、臨 港地区内における行為の 届出	<input checked="" type="checkbox"/> 該当有 <input type="checkbox"/> 該当無 <input type="checkbox"/> 確認中	<input type="checkbox"/> 手続済 <input checked="" type="checkbox"/> 手続中 <input type="checkbox"/> 手続予定 (年 月予定)	確認日: 2023/12/13 部署: ○○市港湾整備課 担当者名(役職): 港湾二郎(主任) 連絡先(TEL): 0000-00-0000	
6 海岸法に基づく海岸保全 区域等の占用許可	<input checked="" type="checkbox"/> 該当有 <input type="checkbox"/> 該当無 <input type="checkbox"/> 確認中	<input type="checkbox"/> 手続済 <input type="checkbox"/> 手続中 <input type="checkbox"/> 手続予定 (年 月予定)	確認日: 2023/12/13 部署: ○○市海岸整備課 担当者名(役職): 海岸三郎(主任) 連絡先(TEL): 0000-00-0000	
7 急傾斜地の崩壊による災 害の防止に関する法律に 基づく急傾斜地崩壊危険 区域内の行為許可	<input checked="" type="checkbox"/> 該当有 <input type="checkbox"/> 該当無 <input type="checkbox"/> 確認中	<input type="checkbox"/> 手続済 <input checked="" type="checkbox"/> 手続中 <input type="checkbox"/> 手続予定 (年 月予定)	確認日: 2023/12/13 部署: ○○市建設部都市計画課 担当者名(役職): 建設太郎(係長) 連絡先(TEL): 0000-00-0000	
8 砂防法に基づく砂防指定 地における行為許可、砂防 設備の占用許可	<input checked="" type="checkbox"/> 該当有 <input type="checkbox"/> 該当無 <input type="checkbox"/> 確認中	<input type="checkbox"/> 手続済 <input type="checkbox"/> 手続中 <input type="checkbox"/> 手続予定 (年 月予定)	確認日: 2023/12/13 部署: ○○市建設部都市計画課 担当者名(役職): 建設太郎(係長) 連絡先(TEL): 0000-00-0000	
9 地すべり等防止法に基づ く地すべり防止区域又は ぼた山崩壊防止区域内の 行為許可	<input checked="" type="checkbox"/> 該当有 <input type="checkbox"/> 該当無 <input type="checkbox"/> 確認中	<input type="checkbox"/> 手続済 <input checked="" type="checkbox"/> 手続中 <input type="checkbox"/> 手続予定 (年 月予定)	確認日: 2023/12/13 部署: ○○市建設部都市計画課 担当者名(役職): 建設太郎(係長) 連絡先(TEL): 0000-00-0000	
10 景観法に基づく届出	<input checked="" type="checkbox"/> 該当有 <input type="checkbox"/> 該当無 <input type="checkbox"/> 確認中	<input type="checkbox"/> 手続済 <input type="checkbox"/> 手続中 <input type="checkbox"/> 手続予定 (年 月予定)	確認日: 2023/12/13 部署: ○○市民部環境課 担当者名(役職): 環境五郎(係長) 連絡先(TEL): 0000-00-0000	
11 農業振興地域の整備に関 する法律に基づく市町村 の農業振興地域整備計画 の変更手続	<input checked="" type="checkbox"/> 該当有 <input type="checkbox"/> 該当無 <input type="checkbox"/> 確認中	<input type="checkbox"/> 手続済 <input checked="" type="checkbox"/> 手続中 <input type="checkbox"/> 手続予定 (年 月予定)	確認日: 2023/12/13 部署: ○○市農業委員会事務局 担当者名(役職): 農林太郎(主任) 連絡先(TEL): 0000-00-0000	

**【本様式全体に関わる留意点】**  
 ・複数の発電所がある場合はシートを複製し、発電所ごとに資料を作成してくだ  
 さい。

発電所番号、発電所住所、作成日を記入してください。  
 ※「発電所番号、発電所住所」は様式第4-1 導入設備の「発電所名・設置場所住所」と一  
 致するよう記入してください。  
 ※「作成日」は応募申請時の作成日にて記入してください(情報更新時、都度作成日の変  
 更は不要)。

- 確認・手続先は、発電所を設置する行政機関(自治体)にしてください。行政機関  
 への確認日、部署、担当者及び連絡先を記入した上で、該当の有無等を記入して  
 ください。  
 ※該当有の場合は必ず現況を記入してください。
- 確認は公募開始日から1年以内に行われたもので記入してください。また、2024  
 年4月以降に太陽光に関する条例を施行・変更した自治体がありますので、行政機  
 関に確認してください。

# 添付11 (関係法令手続状況の説明資料)の記入方法 [2]

12	農地法に基づく農地転用許可	<input checked="" type="checkbox"/> 該当有 <input type="checkbox"/> 該当無 <input type="checkbox"/> 確認中	<input checked="" type="checkbox"/> 手続済 <input type="checkbox"/> 手続中 <input type="checkbox"/> 手続予定 ( 年 月予定)	確認日: 2023/12/13 部署:〇〇市農業委員会事務局 担当者名(役職): 農林太郎(主任) 連絡先(TEL): 0000-00-0000
13	森林法に基づく林地開発許可等手続、伐採及び伐採後の造林の届出手続	<input checked="" type="checkbox"/> 該当有 <input type="checkbox"/> 該当無 <input type="checkbox"/> 確認中	<input checked="" type="checkbox"/> 手続済 <input type="checkbox"/> 手続中 <input type="checkbox"/> 手続予定 ( 年 月予定)	確認日: 2023/12/13 部署:〇〇市建設部土木課 担当者名(役職): 土木四郎(主事) 連絡先(TEL): 0000-00-0000
14	文化財保護法に基づく埋蔵文化財包蔵地土木工事等届出、史跡・名勝・天然記念物指定地の現状変更許可	<input checked="" type="checkbox"/> 該当有 <input type="checkbox"/> 該当無 <input type="checkbox"/> 確認中	<input checked="" type="checkbox"/> 手続済 <input type="checkbox"/> 手続中 <input type="checkbox"/> 手続予定 ( 年 月予定)	確認日: 2023/12/13 部署:〇〇市民部文化財課 担当者名(役職): 国土太郎(係長) 連絡先(TEL): 0000-00-0000
15	土壤汚染対策法に基づく土地の形質変更届出	<input checked="" type="checkbox"/> 該当有 <input type="checkbox"/> 該当無 <input type="checkbox"/> 確認中	<input checked="" type="checkbox"/> 手続済 <input type="checkbox"/> 手続中 <input type="checkbox"/> 手続予定 ( 年 月予定)	確認日: 2023/12/13 部署:〇〇市民部環境課 担当者名(役職): 環境五郎(係長) 連絡先(TEL): 0000-00-0000
16	自然公園法に基づく工作物新築許可等	<input checked="" type="checkbox"/> 該当有 <input type="checkbox"/> 該当無 <input type="checkbox"/> 確認中	<input checked="" type="checkbox"/> 手続済 <input type="checkbox"/> 手続中 <input type="checkbox"/> 手続予定 ( 年 月予定)	確認日: 2023/12/13 部署:〇〇地方環境事務所 担当者名(役職): 自然三郎(課長補佐) 連絡先(TEL): 0000-00-0000
17	自然環境保全法に基づく工作物新築許可等	<input checked="" type="checkbox"/> 該当有 <input type="checkbox"/> 該当無 <input type="checkbox"/> 確認中	<input checked="" type="checkbox"/> 手続済 <input type="checkbox"/> 手続中 <input type="checkbox"/> 手続予定 ( 年 月予定)	確認日: 2023/12/13 部署:〇〇地方環境事務所 担当者名(役職): 自然三郎(課長補佐) 連絡先(TEL): 0000-00-0000
18	肥土のおそれがある野生動物種の種の保存に関する法律に基づく生息地等保護区の管理地区の行為許可等	<input checked="" type="checkbox"/> 該当有 <input type="checkbox"/> 該当無 <input type="checkbox"/> 確認中	<input checked="" type="checkbox"/> 手続済 <input type="checkbox"/> 手続中 <input type="checkbox"/> 手続予定 ( 年 月予定)	確認日: 2023/12/13 部署:〇〇地方環境事務所 担当者名(役職): 自然三郎(課長補佐) 連絡先(TEL): 0000-00-0000
19	鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律に基づく鳥獣保護区の特別保護地区の行為許可	<input checked="" type="checkbox"/> 該当有 <input type="checkbox"/> 該当無 <input type="checkbox"/> 確認中	<input checked="" type="checkbox"/> 手続済 <input type="checkbox"/> 手続中 <input type="checkbox"/> 手続予定 ( 年 月予定)	確認日: 2023/12/13 部署:〇〇地方環境事務所 担当者名(役職): 自然三郎(課長補佐) 連絡先(TEL): 0000-00-0000
20	環境影響評価法・条例に係る環境影響評価手続(環境影響手続における事業名称)	<input checked="" type="checkbox"/> 該当有 <input type="checkbox"/> 該当無 <input type="checkbox"/> 確認中	<input checked="" type="checkbox"/> 手続済 <input type="checkbox"/> 手続中 <input type="checkbox"/> 手続予定 ( 年 月予定)	確認日: 2023/12/13 部署:△△県環境部環境評価課 担当者名(役職): 環境次郎(課長) 連絡先(TEL): 0000-00-0000
21	消防法上の規制に対する手続(蓄電池)	<input checked="" type="checkbox"/> 該当有 <input type="checkbox"/> 該当無 <input type="checkbox"/> 確認中	<input checked="" type="checkbox"/> 手続済 <input type="checkbox"/> 手続中 <input type="checkbox"/> 手続予定 ( 年 月予定)	確認日: 2023/12/13 部署:××市消防局 担当者名(役職): 消防二郎(課長) 連絡先(TEL): 0000-00-0000
22	その他の法律・条例に係る手続(注2) (法令名:〇〇市〇〇条例)	<input checked="" type="checkbox"/> 該当有 <input type="checkbox"/> 該当無 <input type="checkbox"/> 確認中	<input checked="" type="checkbox"/> 手続済 <input type="checkbox"/> 手続中 <input type="checkbox"/> 手続予定 (2024年11月予定)	確認日: 2023/12/13 部署:〇〇地方環境事務所 担当者名(役職): 自然三郎(課長補佐) 連絡先(TEL): 0000-00-0000

上記以外の相談先(部署名)(注3)  
 ・△△県企画部エネルギー環境課(関係法令全般に係る相談)  
 ・〇〇市企画政策部エネルギー課(関係法令全般及び地域住民との調整に係る相談)

(注1) 掲載した関係法令は、あくまで参考として例示したものであり、申請者の責任において、法令を所管する行政機関への照会等により、最終的な確認・手続を行うこと。行政機関と関係法令への該当の有無について確認中の場合、「確認中」を選ぶこと。  
 (注2) 掲載した法令のほかに該当するものがあれば「22 その他の法律・条例に係る手続」に記入すること。  
 (注3) 発電設備の所在地に係る関係法令及び条例の相談先として記載した部署以外に相談先がある場合は記入すること。

**【本様式全体に関わる留意点】**

● 複数の発電所がある場合はシートを複製し、発電所ごとに資料を作成してください。

- その他の法律・条例に該当しないかを確認し、該当の有無を含め全て記入してください。
- 行政機関(各自治体)において、太陽光発電設備の規制に関する条例を定めている場合がありますので、確認のうえ記入してください。
- 地域住民や地域の自治体と適切なコミュニケーションを図るとともに、地域住民に十分配慮して事業を実施するよう努めてください。(公募要領1-6. 補助対象事業の要件を参照)

# 添付12（賃金引上げ計画の表明書）の記入方法

添付 12

## 賃金引上げ計画の表明書

当社は、○年度（令和○年○月○日から令和○年○月○日までの当事業年度）（又は○年）において従業員の賃金を引上げ、給与総額を対前年度（又は対前年）増加率○%以上することを【を表明いたします。／について、従業員と合意したことを表明いたします】。

（記載時の留意点）

・事業終了後に当該表明書の内容について、留意事項1又は2における関連資料のご提出を頂くとともに、当協会にて内容を確認させていただきますので、それらを踏まえた記載内容の選択をお願いします。

令和XX年XX月XX日  
株式会社需要家太陽  
東京都港区新橋 XXX-XXX  
代表取締役 太陽太郎

上記の内容について、我々従業員は、令和○年○月○日に、○○○という方法によって、代表者より表明を受けました。

令和XX年XX月XX日  
株式会社需要家太陽  
従業員代表 氏名 ○○ ○○ 印  
給与又は経理担当者 氏名 ○○ ○○ 印



【本様式全体に関わる留意点】

- ・本様式はWordファイル“添付12”で提供します。
- ・記入すべき箇所以外の内容は変更しないでください。

賃金引上げを表明した期間(事業年度又は年)を記入してください。

対前年度(又は対前年)増加率を記入してください。

【表明または従業員と合意を表明】を記入してください。

“記載時の留意点”を確認し、2ページ目の“留意事項”を含めて提出してください。

申請日、申請者法人の名称、住所、代表者の氏名を記入してください。  
※「申請者法人の名称、住所、代表者の氏名」は様式第2別紙2-1の記載内容と一致するように記入してください。

従業員と合意した場合、合意した日付、合意した方法を記入してください。

申請日、申請者法人の名称、従業員代表氏名、給与又は経理担当者の記入及び押印をしてください。  
※「申請者法人の名称」は様式第2別紙2-1の記載内容と一致するように記入してください。

## 応募申請書類作成にあたっての注意事項

✓ 例年、特に以下の点を中心に書類上の不備が散見されるため、申請に際してはご注意ください。

✓ **各様式、別紙、添付書類の記載内容との間で一致や整合しているものを記入してください。**

- ・各種金額 ・日付 ・名称 ・発電所番号 ・DC出力 ・AC出力 ・接続検討結果(受給開始日/容量) ・需要量
- ・FIT/FIP認定 ・地番

特に記入を終えたとき、添付書類が揃ったとき及び記入内容の変更などを行った場合は、次に示す書類の記入内容について申請書類全体で整合しているかお確かめください。

- ・様式第1応募申請書 ・別紙1-1 ・様式第2実施計画書 ・別紙2-1 ・別紙2-2 ・様式第3実施体制
- ・様式第4-1補助対象設備の整備計画 1.導入予定の設備・機器について 2.整備スケジュール
- ・様式第4-2補助対象事業による電気の利用の計画
- ・様式第4-3補助対象設備の設備構造図 ・様式第5資金計画 ・各添付書類の内容

このほか、特にご配慮いただきたい様式及び添付書類の内容は以下の通りです。

✓ **様式第4-3**

地番の分かる図面上に、受変電設備を含む各設備機器を配置してください。

パネル・パワコンは、様式第4-1の発電所出力と、添付6、添付7の接続検討内容と整合する出力で作成してください。

✓ **添付4(1)・(2)・(3)**

地番リスト及びその境界は、様式第4-3設備構造図及び公図と過不足なく一致させてください。

公図は、発電所の周囲の地番が十分に確認できる縮尺で取得してください。

✓ **添付5(1)・(2)・(3)**

登記簿謄本は、法務局発行の3か月以内のものを添付してください。

契約書等の写しは、補助事業者に権利が有ることが明瞭に分かるものにしてください。

✓ **添付6、添付7**

接続検討の申請及び系統連系に係る契約日は、**事業完了日に十分間に合う日**としてください。

有効期限内に発行されたもので、補助事業者が権利を有しているものにしてください。

✓ **添付11**

確認・手続き先は、該当の有無/確認中のいずれにかかわらず、地域の行政機関に過去1年以内に連絡を取った内容で記入してください。

2024年以降に太陽光に関する条例を施行・変更された自治体もごさいます。ご確認ください。

※書類の抜け漏れなく応募申請してください。なお、本頁は申請書類に含めていただく必要はございません。申請前の確認にご活用ください。

## 改定履歴

ファイル名	改訂日	改訂内容
申請書作成ガイド(複数年度)_R6YJ_240919_1.0	2024/9/19	初版発行